

2018年度 年 報
—自己点検・評価報告書—

天使大学大学院助産研究科

自己点検・評価報告書

目 次

1. 教育課程	1
2. 院生の受け入れ	2
3. 教員組織	3
4. 研究活動・研究環境	4
5. FD活動等	6
6. 社会貢献	7
7. 国際交流	11
8. 学生生活	12
9. 図書館	17
10. 情報処理システム	18
11. 施設・設備	19
12. 管理運営	20
13. 財務	21
14. 事務組織	22
15. 自己点検・評価活動	23

1. 教育課程

担 当： 教務委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習病院の安定的な確保 2. 教員の実習指導体制の見直しと検討 <ol style="list-style-type: none"> ①院生理解を基にした実習指導 ②遠隔地での長期にわたる実習指導体制の検討 3. ルーブリック評価の活用の拡大 4. カリキュラムの見直し
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. (基礎分野) <p>1年次の実習施設については、数年間利用していなかったJ病院に実習を依頼することができた。複数の実習病院から「実習指導助産師の配置が困難」「分娩件数が減少し出産期実習の受け入れが難しい」等の申し出があり、安定的な実習病院確保には至らなかった。今後も、新たな実習病院の開拓を続けるなど、院生の臨地実習に適した実習先の確保に努力していく。</p> <p>2年次の実習先である助産所および病院については継続的な利用ができた。</p> <p>国際助産実習は、昨年同様、マダガスカルにあるアベマリア病産院（フランシスコ修道会の運営）を中心に実習した。施設側の事情から次年度の実習受入れが困難となったため、新たな実習先の検討中である。性教育実習については継続的な実習先（女子中学校）が得られている。</p> <p>(教育分野)</p> <p>従来から使用の実習病院、実習助産所を利用できている。</p> 2. 助産師としての臨床経験年数が少ない教員の実習指導では、専任教員を複数配置する体制をとった。 <ol style="list-style-type: none"> ① 院生理解と実習指導の向上を目的に、教員FDおよび臨床指導者FDを行った。教材としてドナルド・ショーンの「省察的実践による教育」を選び、実習指導を行う教員やスタッフが自らの指導方法を振り返る重要性と方法について共有した。 ② 遠隔地での実習先の一つに、複数の専任教員を配置し、教員が大学に戻って仕事ができるよう日程を調整した。また、専任教員が一人の遠隔地の実習先には必要に応じ他の教員を巡回指導として派遣した。 3. 1年次の実習で活用中のルーブリック評価表を見直すにとどまり、2年次の実習の評価への活用に至らなかった。修了時達成目標につながるよう各実習目標等の見直しと合わせてルーブリック評価表の検討を行った。 4. カリキュラム全体の見直しには至らなかったが、1年次の実習（マタニティサイクル助産ケア基礎実習および統合実習Ⅰ）の目標、実習方法、評価について検討を行った。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎分野における実習病院の確保（継続） 2. 国際助産実習先の検討と確保 3. 実習評価の検討（ルーブリック評価表の活用）（継続） 4. カリキュラムの見直し

2. 院生の受け入れ

担 当： 入試広報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 限られたマンパワー・予算の中で、「アドミッション・ポリシーに適った志願者」が増加するよう、広報効果の最大化を図る。</p> <p>2. 入試ミス防止に十分配慮するとともに、円滑で遺漏のない入学試験の実施・運営に万全を期する。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 広報についての活動目標を達成するために行った活動と評価は以下のとおり。</p> <p>①6月と8月にオープンキャンパスを開催した。第1回は「母親学級の模擬演習」、第2回は分娩台を使ったデモンストレーションなど「体験型施設見学」を行うなど内容を充実した。参加者は第1回が25名（昨年度24名）、第2回が28名（昨年度26名）だった。高校生の参加者も複数名いた。</p> <p>②昨年度課題としたwebサイトページについて、6月のwebサイトリニューアル後、助産研究科の紹介映像を新たに制作し、webサイトに掲載した。</p> <p>③助産研究科らし・ポスター・パンフレット・学生募集要項を病院・看護大学等に一齐送付した。昨年度課題とした送付時期の早期化および送付回数の充実について、5月中旬（昨年度6月上旬）および7月中旬（昨年度8月下旬）にそれぞれ送付した。</p> <p>④「オープンキャンパスの開催」や「入学試験の出願開始」を告知するため、資料請求者等に対しメールマガジンを配信した（年4回）。</p> <p>⑤本学看護学科学生に対する学内説明会を実施した（4年次生対象：参加者数10名（4月26日開催）、3年次生対象：参加者数10名（6月26日開催））。</p> <p>以上の活動の結果、昨年度より志願者が27名と昨年度より8名増加した。</p> <p>2. 推薦入学試験、前期試験（一般入学試験、社会人入学試験、助産教育分野入学試験）、後期試験（一般入学試験、助産教育分野入学試験）を実施した。試験前に入試・広報委員長による試験問題の最終チェックを行うなど入念に準備を進め、全体として円滑に入試業務を遂行した。また、昨年度課題としてあげた、合否判定基準について見直しを行った。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. webサイトについて、引き続き、他の大学院との違い等訴求内容が伝わりやすいよう見直しを行う。</p> <p>2. 魅力あるオープンキャンパスへの動員および出願者を増加させるため、引き続き、オープンキャンパスの魅力あるコンテンツの検討を行う。</p> <p>3. 天使大学 看護学科学生に対する広報活動を強化する。</p> <p>①看護学科学生に向けた、授業公開や院生との交流会の実施を検討する。</p> <p>②学部進学者のメリット（入試、学費等）を検討する。</p> <p>4. 入学定員に満たない場合に備え、3月に入試を行うことを検討する。</p> <p>5. 入試ミス防止に十分配慮するとともに、円滑で遺漏のない入学試験の実施・運営に万全を期する。限られた人員で実施するため、事務局の協力も含めた体制を検討する。</p>

3. 教員組織

担 当： 教務委員会

本年度の活動目標	<p>1. 教員組織の強化（継続）</p> <p>2. 院生の学修支援の強化（継続）</p>
活動内容の評価	<p>1. 研究科長が看護学科母性看護学教授から異動となり、教育分野と実習指導を担当。</p> <p>国際助産の実践経験のある助教1名が入職。助教2名が講師に昇任。</p> <p>講師1名と助教2名が「助産教員のキャリアラダー」（全国助産師教育協議会、組織強化委員会作成）では、レベルⅠからレベルⅡに位置し、「臨床能力」「教育能力」「研究能力」「管理能力」について、各自の課題達成に向けて、教授3名で指導する体制が円滑に機能できなかった。</p> <p>次年度は体制が機能するよう、4月から教員各自が自己目標を掲げ、形成評価を実施し、課題達成を目指す。</p> <p>2. 新入生の in put 評価は、推薦入試科目平均得点 63.5 点（前年比－12.2 点）、一般入試科目平均得点 72.8 点（前年比＋3.6 点）、社会人入試科目平均点 63.8 点（前年比－12.2 点）であった。</p> <p>In put 評価は入試得点の他、大学の成績も関係しているが、大学間の教育レベルに差があり、入試得点の方が関連性がみられる。</p> <p>前期で、退学・休学の院生2名は、入試得点が低く、授業・実習への困難感が大きく、授業・実習目標への到達は難しかった。</p> <p>今後、入試科目平均点が 65 点未満の院生については、入学後から個別の学修支援計画を立案し、授業・実習の補足等の支援強化を図る。</p>
次年度への課題	<p>1. 教員組織の強化（継続）</p> <p>2. 院生の学修支援の強化（継続）</p>

4. 研究活動・研究環境

担 当： 学術振興委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科研費等競争的外部資金獲得のための講習会を企画する。 2. 紀要第19巻(第1号・第2号)を発刊する。 3. 特別研究費の研究報告会を開催し、発表後の紀要等への投稿を促す。 4. 研究に関する相談窓口を設け、若手研究者育成のための方策を検討する。
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科研費獲得のための講習会を今年度は2回企画した。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 初心者向け科研費獲得のための講習会 15名 日時：2018年7月27日(金) 16時30分～17時30分 場所 6101 講義室 講師：学術振興委員、栄養学科准教授：西 隆司先生 2) 中級者向け科研費獲得のための講習会 26名 日時：2018年9月19日(水) 18時10分～19時40分 場所 6101 講義室 講師：副学長、看護学科教授：高木 廣文先生 <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度の科研費新規採択件数は4件(申請16件)、また2019年度申請件数は、20件であった。 ・科研費獲得に関する久留米大学教授 児島将康著『科研費獲得の方法とコツ』の改訂6版を5冊購入し、例年のとおり利用に供した。 2. 紀要は、第19巻の第1号(2件)及び第2号(1件)を発刊した。投稿者が減少していることについては、春休みや夏休み期間を執筆期間として頂けるよう、募集時期を調整し、第19巻より年2回の投稿締切日(申込日)を4月末と10月末に改めた。 第19巻第2号に掲載された報告1件は、2016年度特別研究費によるものである。 3. 特別研究費による研究報告会は、年度末の日程に大きな変更があったが、当初の予定日時で実施可能であることが判明したため、2019年3月14日木曜日に実施した。 また研究報告は、少なくとも紀要に投稿して公表されるよう要請した。 4. 教員の相談体制を強化し、科研費申請のための具体的対策を検討する。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科研費等競争的外部資金獲得のための講習会を複数回企画する。 2. 紀要第20巻(第1号・第2号)を発刊する。 3. 特別研究費の研究報告会を開催し、発表後の紀要等への投稿を促す。 4. 教員の研究時間の確保と環境整備について具体的な対策を検討する。

4. 研究活動・研究環境

担 当： 研究倫理委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 迅速な倫理審査の実施 2. 現行の倫理指針に沿った審査手続きの遂行 3. 研究倫理に関する研究活動および関連する情報提供の) 実施
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度は全体で27件の研究倫理審査申請があった。各申請に対しては、事務局を担当している財務室スタッフおよび委員長が申請書類等を確認しているが、申請者本人の事前チェックが不十分なものも多く、昨年度同様その対応に相当の時間を要した。よって次年度は、チェックリストの適切な使い方についてさらに、さらに周知徹底させる必要があると思われる。 2. 現行の倫理指針「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に合わせた委員会規程に則って、委員会構成員（学外委員の登用）、委員会審議事項への利益相反の明記等を盛り込んだ委員会規程の下で業務を遂行した。 3. 従来同様、年度はじめの早い時期に、本学での研究倫理審査申請の手続き等の研修会を実施し、肝集会参加者には研修を受けた旨の修了者を発行した。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 従来通りの迅速な倫理審査を実施すること。 2. 国の倫理指針に基づきながら委員会業務を遂行すること。研究倫理に関する研修会の実施や、研究倫理に関する幅広い情報提供の実施。 3. 学術振興委員会等、他の委員会とも連携しながら関係する情報の共有を図ること。

5. FD活動

担 当： 教務委員会 (FD担当)

本年度の活動目標	1. 助産研究科FDの実施 2. 臨床指導者FDの実施
活動内容の評価	<p>1. 臨地実習における教員の実習指導の向上を目的に、以下の要領で教員FDを実施した。</p> <p>目的：臨地実習における自らの実習指導を省察できる</p> <p>教材：ドナルド・A・ショーン著 柳沢昌一・村田晶子監訳. (2017) 「省察的実践者の教育 プロフェッショナル・スクールの実践と理論」鳳凰堂</p> <p>日程：第1回 10月12日(金) 10:00~12:00 第2回 10月16日(火) 16:30~18:00 第3回 10月23日(火) 16:30~18:00 第4回 10月25日(木) 16:30~18:00</p> <p>出席者：助産研究科教員8名</p> <p>内容：テキストの抄読を通し、実習場面を想起したディスカッションを行なった。実習指導場面を振り返ることが、①実習環境にある院生理解につながる事、②適切な実習指導となっていたか否か、③院生に合わせた実習指導を考える、ために必要であり重要なことを確認できた。今後の実習指導に、省察的実践を取り入れる意義を教員間で共通理解を得た。</p> <p>2. 臨床指導者、実習指導教員を対象に、ショーンの「省察的実践」について紹介した。省察的実践が実習指導をはじめ後輩指導においても役に立つことを、事例を通して学んだ。</p> <p>日程：3月18日(月) 10:30~12:00</p> <p>出席者：15名(教員7名、臨床指導者・実習指導教員8名)</p>
次年度への課題	1. 助産研究科FDの実施 2. 臨床指導者FDの実施

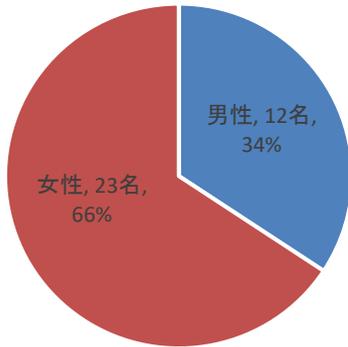
6. 社会貢献

担 当： 地域連携等委員会

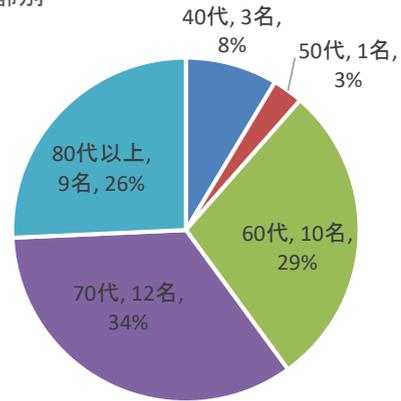
<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2018年度天使大学・北海道科学大学公開講座の実施及び2019年度公開講座の企画 2. 東区役所との連携事業及び5者（東区役所、本学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、北海道スポーツ専門学校、札幌保健医療大学）連携事業の推進 3. 大学間（北海道科学大学等）の連携事業等の展開 4. 地域・他大学との連携事業の実態把握
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2018年度天使大学・北海道科学大学公開講座の実施及び2019年度公開講座の企画 北海道科学大学と連携した公開講座は今年度で8回目である。北海道科学大学と連携することにより、医療、薬学、看護学、栄養学の分野から生活に役立つ情報をわかりやすく解説する講座を実施することが出来た。受講申込者は2017年度と比較すると0.7%減少したが、出席率は0.8%増加した。アンケート結果（別紙1）より受講者からの評価は高く、地域住民への有意義な講座を実施することができた。今後も、地域住民にとって有益な企画を立案していく。 2. 東区役所との連携事業及び5者（東区役所、本学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、北海道スポーツ専門学校、札幌保健医療大学）連携事業の推進 <ol style="list-style-type: none"> 1) 東区役所と連携し地域住民対象に7件の事業を行った。各事業とも本学教員と学生ボランティアが協力し、本学の質的資源が地域住民に還元されたことは評価できる。今後もこれらの事業に関して継続できるようサポートする。 2) 東区5者連携事業として、「ひがしく健康・スポーツまつり」で[天使大の健康塾]の企画・運営を行った。地域住民参加型の企画内容で、本学は学生ボランティア協力のもと、食事バランスチェック・血圧測定・血管年齢測定を行った。 皆様の対応で元気をもらった、食生活の大切さを実感できたと好評で、今後も委員会として充実した企画・運営行っていく。 3. 大学間（北海道科学大学等）の連携事業等の展開 大学間連携として、北海道科学大学が主体で実施している「夕張地域医療体験」への学生参加者の募集・支援を行い、本学からは4名の学生が参加した。 4. 地域・他大学との連携事業の実態把握 本学と地域・他大学との連携事業の実態を把握し、次年度以降も継続する。 5. 助産研究科からの委員として全体の活動の企画、公開講座の運営に参画した。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 北海道科学大学と連携することの利点を生かし、企画、運営について検討する。 2. 5者連携事業である「ひがしく健康・スポーツまつり」の「天使大の健康塾」について学生の参加を募り、充実した企画にする。 3. 北海道科学大学との連携事業では、夕張地域医療体験への学生参加者の支援、連携内容について北海道科学大学から提案されたことについて検討する。また、他大学との連携等についても検討する。 4. 本学教職員が地域・他大学と連携する事業等を把握し、地域社会へ貢献している現状を整理する。

1. 次の事項について、差し障りのない範囲でお答え願います。

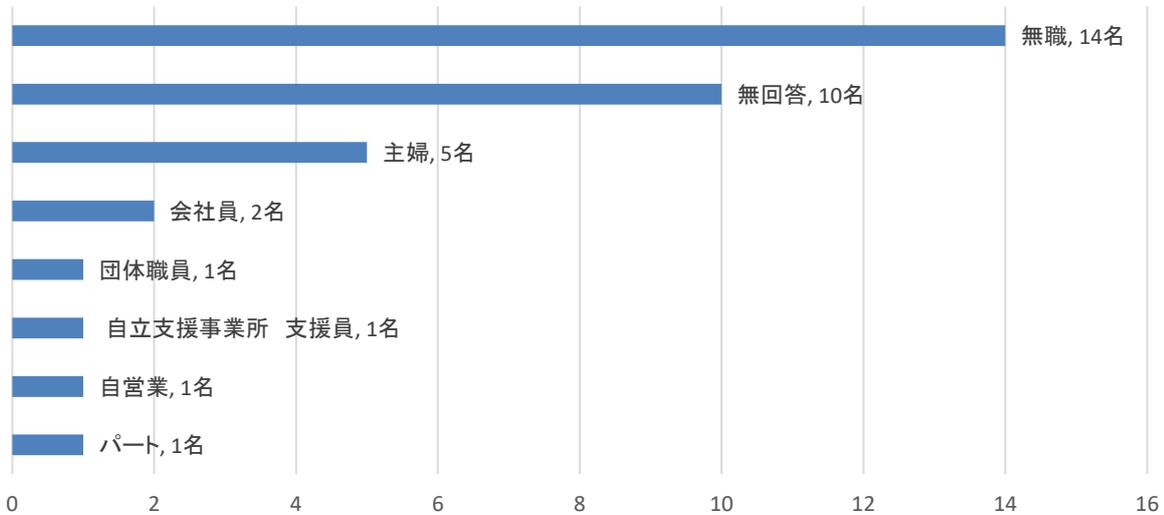
1.1)男女別



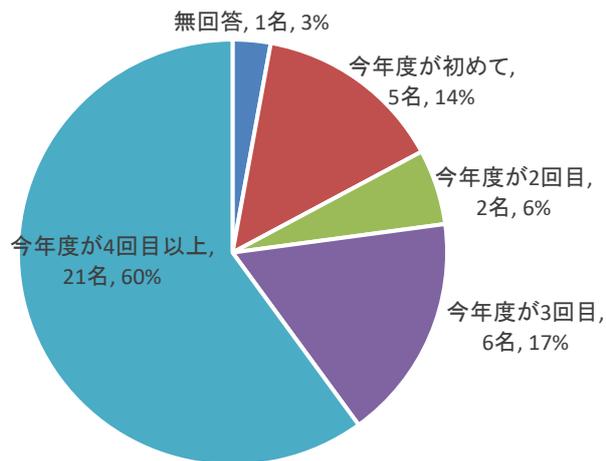
1.2)年齢別



1.3)職業別



2. これまでの参加回数



3. 何で知りましたか。(複数回答)

①	チラシ(北海道新聞折込み)	5人	11.6%
②	掲示ポスター	3人	7.0%
③	天使大学からの郵便物(ダイレクトメール)	22人	51.2%
④	新聞掲載	2人	4.7%
⑤	広報誌(道民カレッジ等)	5人	11.6%
⑥	ホームページ	2人	4.7%
⑦	その他	4人	9.3%
	無回答	0人	0.0%
合 計		43人	100.0%

※その他内訳…かでの2・7 区民センターなど、昨年受講した友人からの紹介、道民カレッジHP、友人に誘われて

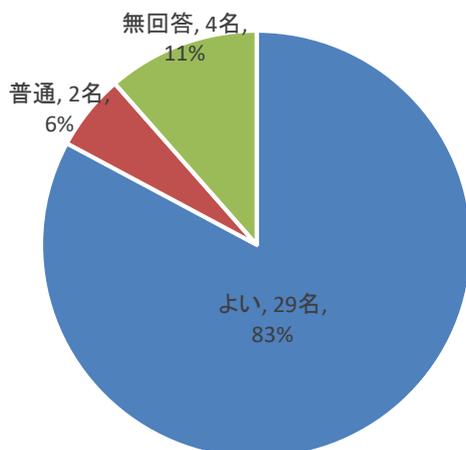
4. ご参加の動機をお聞かせください。(複数回答)

①	テーマに興味があったので	26人	32.9%
②	講師陣に魅力を感じて	1人	1.3%
③	2大学連携の公開講座だから	12人	15.2%
④	通いやすい会場だから	17人	21.5%
⑤	参加しやすい開講時間帯であるため	20人	25.3%
⑥	その他	2人	2.5%
	無回答	1人	1.3%
合 計		79人	100.0%

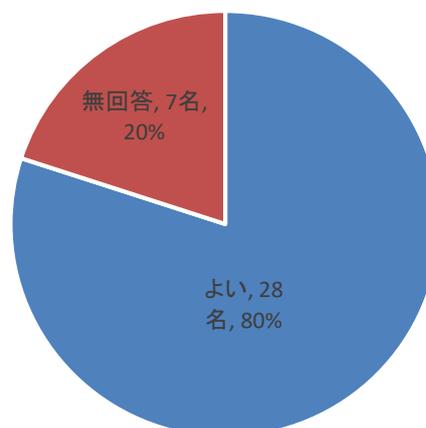
※その他内訳…受講料が安い、脳の活性を期待して。

5. 今年度の公開講座について感想をお聞かせください。

5.1)全体テーマについて



5.2)回数について



6. 社会貢献

担 当： 教務委員会

本年度の活動目標	<p>1. 地域の女性や母子の健康推進や子育て支援に関する事業に協力する。</p> <p>2. 助産ケアおよび看護ケアの質の向上と安全への事業に協力する。</p>
活動内容の評価	<p>1. 地域の女性や母子の健康推進や子育て支援に関する事業に協力する。</p> <p>1) 本学ヘルスケア開発実践プロジェクトで、「子育てサロン」の開催。 (教授1名、院生3名が参加)</p> <p>2) 講義依頼を受けた市内の中学校で、「性教育授業」2回、実施 (教授1名、助教1名、院生7名)</p> <p>3) 学内において、近隣の妊婦を対象に「出産準備教育」「育児教室」を実施した。 (教授2名、講師1名、院生13名)</p> <p>2. 助産ケアおよび看護ケアの質の向上と安全への事業に協力する。</p> <p>1) 一般社団法人北海道助産師会の理事、委員として会の活動の企画・運営への参画 (教授2名、助教1名)</p> <p>2) 北海道思春期研究会の幹事として活動の企画運営に参画 (教授2名)</p> <p>3) 全国助産師教育協議会の組織強化委員として、助産師教育の発展・向上のための活動に参画 (教授1名)</p> <p>4) 日本災害看護学会の委員として運営に参画 (教授1名)</p>
次年度への課題	<p>1. 地域の女性や母子の健康推進や子育て支援に関する事業に協力する。(継続)</p> <p>2. 助産ケアおよび看護ケアの質の向上と安全への事業に協力する。(継続)</p>

7. 国際交流

担 当： 教務委員会

本年度の活動目標	<p>1. 安全に配慮した国際助産学実習の円滑な実施</p> <p>①実習前の安全教育の実施</p> <p>②危機マニュアルの作成</p> <p>2. 国際交流の機会への積極的参加・協力</p> <p>①大学が関わる国際交流の情報の把握と協力</p> <p>②教員・院生に対し、助産領域の国際的知見に関する情報の提供</p>
活動内容の評価	<p>1. 国際助産実習の円滑な実施のために行ったことは以下の通りである。</p> <p>①マダガスカルでの実習受入れ担当者（カトリック フランシスコ修道会 Sr. 平間）と打ち合わせ（Sr. 平間が日本に帰国中に教員と3回、院生と1回、直接面談し、打ち合わせを行った。（①現地の気候②感染症の状況③実習中の生活や食事④その他）</p> <p>Sr. 平間がマダガスカルに戻られた後、空港の出迎えや実習病院までの車の手配等、安全を考慮した打ち合わせはメールで行った。</p> <p>②マダガスカルの実習先（アベマリア病産院ほか）で院生の実習指導の経験を持つ実習指導教員を配置した。</p> <p>③実習滞在中の健康管理として、事前に必要な予防接種を受けること、マラリア予防薬の処方を受けることを促した。</p> <p>④旅行保険の案内と加入を促した。</p> <p>⑤外務省および厚生労働省からの安全情報の入手方法と活用について説明を行った。</p> <p>⑥実習中の緊急時連絡方法、手順の作成と院生への周知を図った。</p> <p>⑦危機管理マニュアルの作成を行った。</p> <p>③院生の実習に伴う自己負担金の軽減のため、天使大学同窓会に実習助成金の申請を行い、獲得することができた。</p> <p>2. ①日・韓カトリック看護系大学による交流協議会に助産研究科教員2名が参加し、天使大学を会場としたプログラムに協力した。</p> <p>②JOCs（日本キリスト教医療協力会）の招きで、タンザニアのタボラ州から来日中のアレックス神父様（カトリック・タボラ大司教区の保健医療統括施責任者）の天使大学への訪問・見学の依頼を受け、調整し実施した。</p> <p>現地に、看護および助産の学校設立を計画中であることから、学内見学のほか、理事長や学長との面談、看護学科長・助産教員からは、日本の看護・助産教育や天使大学のカリキュラムについて説明を行った。施設・設備や備品への関心ほか、看護や助産のカリキュラムについての積極的な質問があった。助産研究科院生のためにタンザニアにおける医療や母子保健の現状についてお話をいただき院生との交流の時間を持った。院生からはタンザニアの助産に関する質問等もあり、海外の母子保健活動へ関心をよせる機会となった。</p> <p>③2020ICM インドネシア大会の研究・ポスター発表の募集に関する情報提供を教員に対し行った。</p>
次年度への課題	<p>1. 国際助産実習の円滑な実施（実習先の検討と確保）</p> <p>2. 国際交流への参加および協力</p>

8. 学生生活・就職支援

担当：教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生生活全般への支援 2. 学生の健康支援 3. 学生生活実態調査実施 4. 学生課外活動への支援 5. 就職支援
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生生活全般への支援 <ol style="list-style-type: none"> 1) メンターシップによる学修・生活支援の充実 <p>入学時から院生一人ひとりにメンター（よき助言者）となる専任教員をおき、学習進度を確認し、専門職者としての自己課題の発見および成長に必要な指示、方向付け、フィードバック等の支援を行った。また、学生生活全般（健康状況含む）についての相談役となり、支援を行った。特に実習上困難を抱えている院生には、実習前・中・後に個人面接を行い、指導・助言をした。</p> <p>休学・復学時の前後に個人面談を行うとともに休学期間中の生活についての助言・指導を行った。</p> 2) 学生の経済的支援 <p>奨学金は、天使大学奨学金、天使大学同窓会、日本学生支援機構奨学金、日本助産師会奨学金、北海道看護職員修学資金等を紹介し、受給率は3割程であった。また、道内病院の奨学金、地方自治体や団体等の奨学事業も積極的に紹介した。</p> 3) 学生生活ガイドブックの充実 <p>学生生活ガイドブックを発行し、全院生・教職員へ年度初めに配布した。学生生活全般について理解できるよう内容の充実に努めた。</p> 4) 事件事故の予防 <p>実習で夜遅く帰宅することが多いため、「防犯ブザー」を全院生に配布した。また、「護身術」講習を実施し、事件・事故に遭わないよう啓発活動を行った。</p> 5) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・急増する SNS のトラブルと使用上の注意点等について繰り返し、喚起した。 ・災害傷害保険（日本看護学校協議会共済会の共済制度「WILL」）への加入を義務づけ実習中等に傷害・賠償・感染事故が発生した場合の対応策をとった。 ・通学途中で不審者と遭遇するという事案が発生した。学務課と連携をとり対応した。 ・避難訓練に参加した（全院生）。 2. 学生の健康支援 <ol style="list-style-type: none"> 1) 保健相談室の現状 <p>学生の定期健康診断はセット検診（X線撮影、身体計測、聴力、聴打診、血液採取等）を実施した。また、季節性のインフルエンザ感染予防対策としてマタニティサイクル助産ケア統合 I 実習の開始前に予防接種を奨励し、全員が接種した。</p> <p>統合 I 実習中に1名がインフルエンザに罹患し、「Will」で対応した。</p> 2) 学生相談室の現状 <p>学生相談室の相談員を2名体制とし週5日の開室日を設け、月曜日から金曜日までいつでも相談を受けられる体制を継続した。メンタルヘル스에問題が生じた学生については、学生相談室への紹介を行うなど連携を図り、支援を行った。</p>

	<p>3. 学生生活実態調査「天使大学大学院生学生生活についての調査」を教育分野・基礎分野2年次生に修了前に実施した。</p> <p>4. 学生課外活動への支援 1年次生が合唱コンクールに参加した。</p> <p>5. 就職支援 1) 1年次生対象に接遇ガイダンス、2年次生対象に就職ガイダンスを実施した。 2) 就職活動ガイドブックを配布した。 3) 就職相談室の活用及び周知を強化した。</p>
次年度への課題	<p>1. 学生生活全般の支援については、メンターシップの強化を始め、「天使大学大学院生学生生活についての調査」結果を分析し、よりよい学生生活支援を実施するためさらに検討していく。特に遠隔地実習での学習・生活支援の強化も図っていく。</p> <p>2. 経済的支援として、各種奨学金紹介のより一層の充実を図るとともに、給付型の奨学金の掘り出しと紹介に努める。</p> <p>3. 今後も学生相談室、保健相談室の相談員と連携し、学生の心身両面への健康支援についての更なる充実を目指す。</p> <p>4. 就職支援については、学生のニーズに応じた支援体制の強化が継続課題である。</p> <p>5. 社会問題となっているSNSのトラブルについて、特に実習開始前に注意喚起を継続していく。</p>

8. 学生生活・就職支援

担 当： 宗務委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. カトリックの精神に基づく宗教的行事を企画運営する。 2. 学生にキリスト教精神を理解してもらう。 3. 教職員に建学の精神を理解してもらう。 4. アッセンブリー・アワーの日程を調整する。 5. 「2018年度カトリック医療関連学生セミナーin大阪」に学生参加を促す。
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. カトリックの精神に基づく宗教的行事を企画運営する。 宗務関係行事の運営は、特別なミサである出会いと親睦のゼミ、イースターの集い、死者追悼のミサ、創立記念日のミサ、クリスマスミサ、新年のミサ、退職する教職員へ感謝のミサ、卒業・修了感謝のミサや毎週のミサ、儀式等（マリア様の戴冠式、クリスマスツリー点灯式、クリスマスキャロルの放送、灰の儀式）、実習前のミサや国家試験前のお祈り等を通し、学生・教員にカトリックの精神の理解を深めるようにした。 毎週のミサにおいては、ポスター等でお知らせしていたが、教員および学生の出席が少なかった。 2. 学生にキリスト教精神を理解してもらう。 入学時と修了前に修養会を企画しミサやお祈りをとおして、また神父からの講話を聴くことでキリスト教についての理解を促した。 3. 教職員に建学の精神を理解してもらう。 教職員修養会の実施は、カトリックセンターが企画し、宗務委員会が協力をして実施した。助産研究科は、実習期間中であつたため出席可能な教員が出席した。 4. アッセンブリー・アワーの日程を調整する。 講義期間中にアッセンブリー・アワーを設け、学生が4月にシスター和田から講話を頂けるよう調整を行った。 5. 「2018年第33回カトリック医療関連学生セミナーin大阪」の学生参加を促すため、ポスターやT-NAVIを利用しお知らせしたが、学生の参加までにはいたらなかった。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 修養会の内容充実への検討。 2. アッセンブリー・アワーの日程を調整し、学生がキリスト教について理解が深められるよう活動する。 3. 毎週のミサの出席者を増やすため、教員および学生への周知を続行する。 4. 「2019年度カトリック医療関連学生セミナー」開催について、ポスターなどで学生参加を促す。

8. 学生生活

担 当：キャンパス・ハラスメント対策委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>キャンパスにおける人権意識を成熟させ、大学生生活環境を快適なものとするため、ハラスメント問題について啓発・点検・支援・問題解決を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新入学生を対象としたハラスメントに対する理解を深めるための講演会を開催する。 2. 言葉やコミュニケーションによって引き起こされる恐れのあるハラスメントに対する知識を深めるため、講演会を開催する。 3. 新入生ガイダンス時にガイドラインを配付し、説明を行う。 4. 防止のためのポスターを掲示し、全学的な啓発活動を行う。 																																								
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新入学生を対象に、キャンパス・ハラスメントに関する講演会を開催した。 参加率 <table border="1" data-bbox="507 712 1283 981"> <thead> <tr> <th></th> <th>在学数</th> <th>参加者</th> <th>2018年度の参加率</th> <th>2017年度の参加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学科</td> <td>102</td> <td>70</td> <td>69%</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td>栄養学科</td> <td>99</td> <td>53</td> <td>54%</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>201</td> <td>123</td> <td>61%</td> <td>64%</td> </tr> </tbody> </table> <p>学生掲示板への開催通知掲示や T-NAVI での掲示及びメール配信を行い、参加を募ったが、参加率は全体で 61%と、前年度の 64%を下回った。参加率を上げるための周知方法について検討・改善が必要である。</p> 2. 言葉やコミュニケーションによって引き起こされる恐れのあるハラスメントについて、知識を深めるための講演会を、両学科 3 年生及び看護学科 4 年生を対象にそれぞれ開催した。 参加率 <table border="1" data-bbox="507 1317 1209 1559"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>在学数</th> <th>参加者</th> <th>参加率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学科</td> <td>3 年</td> <td>93</td> <td>20</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>栄養学科</td> <td>3 年</td> <td>92</td> <td>12</td> <td>13%</td> </tr> <tr> <td>看護学科</td> <td>4 年</td> <td>91</td> <td>22</td> <td>24%</td> </tr> </tbody> </table> <p>学生掲示板への開催通知掲示や T-NAVI での掲示及びメール配信を行い、参加を募ったが、参加率が全体で 17%と非常に低かった。参加率を上げるために、周知方法や、内容の見直しが必要である。</p> 3. 新入生ガイダンス時にガイドライン配付と説明を行う計画について、規程改正があったことでガイドラインへの反映が間に合わなかったため、実施しなかった。次年度、早急に新規程の内容を反映したガイドラインを作成し、T-NAVI で配信する。 4. 啓発活動について、防止のためのポスター貼りなどを実施しなかったため、次年度は必ず実施したい。 		在学数	参加者	2018年度の参加率	2017年度の参加率	看護学科	102	70	69%	91%	栄養学科	99	53	54%	35%	合計	201	123	61%	64%			在学数	参加者	参加率 (%)	看護学科	3 年	93	20	22%	栄養学科	3 年	92	12	13%	看護学科	4 年	91	22	24%
	在学数	参加者	2018年度の参加率	2017年度の参加率																																					
看護学科	102	70	69%	91%																																					
栄養学科	99	53	54%	35%																																					
合計	201	123	61%	64%																																					
		在学数	参加者	参加率 (%)																																					
看護学科	3 年	93	20	22%																																					
栄養学科	3 年	92	12	13%																																					
看護学科	4 年	91	22	24%																																					

次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. 講演会の参加率を上げるため、周知方法や講演会内容について、以下のように見直しを検討する。<ol style="list-style-type: none">①新入生を対象とした講演会については、入学時のLHR等で、必ず参加するように促す。②言葉やコミュニケーション上での気が付かないうちに発生するハラスメントは、実習前の3年生や、社会に巣立つ前の4年生を対象として企画したが、一般的な内容だけでなく、事例を含めた内容を加えるように検討したい。2. 新規程の内容が反映されたガイドラインを作成し、学生に周知する。3. ポスター等の掲示による啓発活動を積極的に行う。
---------	---

9. 図書館

担 当： 図書館情報委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新棟建設が始まるため、新図書館に必要な情報提供を中心に、協力体制を築く。 2. 新棟建設だけでなく、現在の利用者にもより良い利用環境が提示できるよう、利用状況を把握し、改善策を講じていく。 3. 図書館ホームページのリニューアルを行う。 4. 自発的学習を支援するためのガイダンスを適宜行っていく。 5. 過年度登録研究費図書等の除籍・破棄を実施し、資産管理を徹底する。
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. キャンパス整備委員会へのサーバー室や図書館、ラーニング・コモンズに関する情報提供を行い、新棟での各施設の詳細が決定された。 2. 館内貸出用パソコンを10台に増やしたことにより、学内のニーズに即対応できるようになった。 3. 図書館ホームページは、大学公式サイトに合わせて、2018年6月にリニューアルした。リニューアルしたホームページは、見やすくなったと学生にも好評を得ている。 4. 文献検索ガイダンスは、4月と10月に行うことにより、授業科目の助産研究法や、特別統合課題研究などに直結して学習を深めることができている。 5. 過年度登録研究費図書等の除籍・破棄は継続して進めている。 6. 助産研究科図書購入に関し、院生から要望を取り入れた。また、新刊についての情報を提供し学生の学習に貢献した。 7. 新棟建設に伴い、院生学習室の利用学生が増えたことで、本棚を撤去し設置していたスペースを活用できるようにした。本棚の図書は8202室に移動し部屋を解放することで、学生の学習環境を整えた。 8. 時折、院生学習室の巡回を行い、室内の整理整頓や静かな環境で学習できるよう注意をはらった。 9. 新棟建設に伴い、院生学習室の利用学生が増えたことで設置パソコンが不足する場合は、院生も情報処理室を使用できるようにした。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館および院生学習室の利用動向の把握及びそれに基づく利用環境改善案の立案・実施 2. 過年度登録研究費図書等の除籍・廃棄を継続して実施 3. 新図書館への移動計画に対して柔軟な協力 4. 院生室パソコン不足への対応

10. 情報処理システム

担 当： 図書情報委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出パソコンの整備・維持管理 2. 学生の情報処理室、無線 LAN 環境利用促進 3. 学内 LAN 掲示板のブラッシュアップ 4. 遠隔地実習や講義、講習会等の実施を支援する Live On システムの活用 5. 情報セキュリティに関する情報収集と対策の強化 6. サーバシステム、ネットワークシステムリプレース完了後のシステム安定稼働 7. 新棟建設に関わる情報提供や課題検討
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 例年通り情報処理室の維持管理を行っているが、学生の飲食については密閉容器に限り許可した。その後、大きな問題は起きなかったが、今後も飲食による機器トラブルが発生した場合は再度見直しを図る必要がある。 2. 無線 LAN 環境については、要望が多かった SNS のアクセスが可能となった。これにより利用者が急増し、ネットワーク負荷増による学内ネットワークの遅延が頻発するようになった。そこで導入業者と連携し無線 LAN 通信料を制限することで学内ネットワークへの影響を最小限に留める対策を行った。 3. 学内 LAN 掲示板のソフトウェアアップデートを行い、天使学園及び大学規程集が項番順に表示されない課題が解決した。 4. 一部科目について、院生に対する授業で Live On システムが活用された。 5. メールシステム切替えにより学外からのメール送受信が可能となったことで、セキュリティリスクが高まった。このため、今年度より「情報システム管理運用及び利用に関する規程」「学内ネットワークサービスガイドライン」の見直しを始めた。 6. 今年度 4 月に更新作業を実施し、更新後は安定稼働に向けた対応を導入業者と連携して行った。 7. 助産研究科基礎実習、統合実習 I の円滑な実習のため、携帯電話の貸し出しを行った。 8. 助産研究科遠隔地実習に際し、パソコン・プリンターの貸し出しを行った。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出パソコンの整備・維持管理 2. 学生の情報処理室、無線 LAN 環境利用促進 3. 学内 LAN 掲示板のブラッシュアップ、掲示情報の充実 4. 遠隔地実習、大学院講義、講習会等の実施を支援する Live On システムの活用促進 5. 情報セキュリティに関する情報収集と対策の強化 6. 新棟建設に伴うサーバー室移設に係る実施計画の立案

11. 施設・設備

担当：財務室

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 2018年度は第1期工事の基本設計、実施設計、契約、着工までを滞りなく進めていく。</p> <p>2. 第1期工事は、校舎敷地内で授業を行いながらの工事となるため、事故なく工事が進むよう安全管理に努める。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 2018年度は、第1期工事（新校舎）の基本設計、実施設計を進め、12月に建設工事に着手した。</p> <p>新校舎の建物本体、各フロア、外観等について、キャンパス整備委員会、フロア担当者会議、厨房ワーキンググループでの検討を重ね、設計に反映し、昨年7月に先行工事の請負契約を、12月に本体工事の請負契約を締結し、既存校舎の解体、新校舎の起工式を経て、着工に至り、概ね計画どおり事業が進捗してきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスマスタープランについては、計画内容の検討や2018年3月に実施した「ルーツを辿る旅」の結果を反映して策定した。 ・当初計画との大きな変更は、継続利用を前提としていた「マリアホール」について建築基準法等の法令上の理由から、2号館と一体の建物として取り壊しになったことから、5号館を存続させ、使用することとした。 ・2019年度10月に予定されている消費税の税率改正を見越して、オープン入札方式により家具、机、椅子等の什器備品の選定を進め、2018年度内に業務委託契約を締結した。 ・2020年度の2期工事に向けて、4号館等の改修内容について決定し、契約に向けて進めてきた。 <p>2. 第1期工事の進行管理については、清水建設（株）の現場事務所責任者との間で毎月2回、現場定例会議を実施し工事スケジュールや進捗状況の確認のほか、校舎敷地内での工事のため、学生等に影響が及ぶ事項についてはその都度学内周知に努め、事故等が生じないよう工事の円滑な実施に努めている。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 第1期工事については、2020年2月の完成に向けて着実に推進する。</p> <p>また、2020年度の供用開始に向けての円滑な引越しを行う。</p> <p>2. 2020年度からの第2期工事に向けて、着実に準備を進める。</p>

12. 管理運営

担 当：事務局長

本年度の活動目標	1. 学長のリーダーシップが発揮できる支援体制を整える。
活動内容の評価	<p>1. 我が国の社会全体の構造変化を踏まえ、国が進めている高等教育改革に的確に対応するため、2018年度から本学に副学長を設置した。</p> <p>副学長は、学長からの特命事項として「大学院看護栄養学研究科看護学専攻博士後期課程の設置」について学内の取りまとめ、文部科学省への申請の責任者として努めている。</p> <p>このほか、学内理事者等による定例学内打ち合わせに構成員として参画するほか、2018年度の大学基準協会の認証評価への対応に関し改善課題等への対策の検討について学長の支援に努めている。</p>
次年度への課題	<p>1. 「学長のリーダーシップが発揮できる支援体制を整える。」ことについては、本年度限りとする。</p> <p>2. 大学基準協会の「大学基準」を参考に、本件「XⅢ管理運営」及び「XⅤ事務組織」の活動内容について再整理する方向で検討し、点検評価を実施する。</p> <p>例えば、法人及び大学運営に必要な事務組織、予算編成・予算執行、教職員の資質向上の取組などについての整理が必要である。</p>

13. 財務

担 当：財務室

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中期財務計画の立案 2. 学園創立 70 周年・大学開学 20 周年記念募金活動の推進
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 天使学園中期財務計画については、2017 年度決算を踏まえて、2018 年度から 2023 年度までを期間として策定し、2018 年 7 月に理事会で決定した。 計画内容については、キャンパス整備事業に係る新校舎建設事業費、4 号館改修事業費、私学振興共済事業団からの借入金額、基本金取崩額等に加えて、2020 年度からの看護栄養学部の入学定員の増員、専門職大学院の改組転換に向けた検討状況等を踏まえて、収支の変動要因を見込み、策定した。 中期財務計画は、前年度の決算を踏まえて毎年度、見直しすることとしているが、本年度に看護栄養学部の入学定員が理事会で再修正され、文部科学省に申請していることから、これを含めて 2019 年度に中期財務計画を見直す。 2. 昨年度に引き続き、今年度も学園創立 70 周年・大学開学 20 周年記念募金活動を行った。同窓会の協力により、卒業生や在学生の保護者に募金の募集要項を郵送してきたが、募金の使用目的をより明確にするために、新校舎の案内パンフレットを作成した。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護栄養学部の入学定員や大学院看護栄養学研究科、助産研究科の改組転換等を踏まえた見直し 2. 新校舎案内パンフレットの活用による募金事業の活性化

14. 事務組織

担 当：事務局長

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. システムのより安全で安定的な環境を構築するため、サーバー・システム等の更新や事務局導入システムの円滑な運用を目指す。 2. キャンパス整備事業に事務局として迅速で、的確な対応を図る。 3. 事務局として中長期計画に基づく具体的な対応策を検討する。
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 8月にサーバー・システム等の更新を行い、ソフト及びハードが一新され保守面を含めて安定的な運用体制を整えることができた。 今後は教職員の要望を取り入れながら、ユーザビリティが高いシステムを目指し、調整を行っていく必要がある。 本学は緊急時に T-NAVI のメール機能及び天使大学 Gmail による一斉メールで学生、教職員へ連絡を行っているが、2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、停電の影響で学内サーバーが停止し、学生及び教職員に対して天使大学 Gmail による一斉メールを送信した。しかし、一部教職員にメールが届かない事態が発生した。原因を確認したところ、一部教職員が緊急連絡用メールアドレスを総務課に伝えていなかったことや、携帯電話及びスマートフォンの迷惑メール設定により受信できなかったことが判明した。 今後は適切な連絡が正確に行えるよう、緊急連絡用メールアドレスの連絡を教職員に呼びかけ、定期的な実施訓練を行う必要がある。 2. キャンパス整備事業については、「12. 施設・設備」を参照願いたい。 3. 中期財務計画の策定に合わせて、2023年度までの年度別事業計画を策定したが、学園としての中長期計画は策定できていない。 4. 事務組織については、2018年度に実施された大学基準協会による認証評価により「10(1)大学運営」で大学運営に必要な事務組織について検証される機会となった。 本学がこれまで事務組織の活動目標として掲げた内容とは異なるが、今後の自己点検評価活動の「事務組織」として検討すべき事項の参考になったので確認する。 大学基準協会の評価案（2018年12月）：「10(1). 事務組織」評定B 大学運営に必要な事務組織を設け、適切に機能しているが、職員と教員が協働して大学運営に必要な知識等を向上させるための取組や研修の機会を設けるよう改善を求められた。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学基準協会の改善課題を踏まえて、教員と職員のSD・FD活動のあり方を検討し、必要な改善策に取り組む。また、中長期計画については、次年度から別に項目を立てて検討する。 2. 教職員の要望を取り入れたユーザビリティの高いシステム構築を整備し、緊急時を想定した連絡訓練の実施を検討する。

15. 自己点検・評価活動

担 当： 自己点検評価委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2017年度年報の発行 2. 年度末の活動報告会の実施による課題及び次年度への改善点の明確化と学内PDCAサイクルの確立の検討 3. 大学基準協会認証評価及び助産評価機構認証評価の準備と対応 4. 研究業績システムの運用と充実
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年報について、7月に発刊した。大学基準協会の認証評価結果を受け、年報の内容の見直し等を検討する必要がある。 2. 大学基準協会認証評価及び助産評価機構認証評価を受け、「大学基準に適合」との評価であった。 しかし、大学基準協会より改善課題及び是正勧告があり、それらについて早急に改善する必要があるが、内部質保証について大学全体で取り組まなければいけない。そこで、3月12日に全教職員を対象とした講演会を実施し、知識及び意識を深めた。引き続き全学で内部質保証に対する知識及び意識を深めるため、講演会等を実施する必要がある。 3. 研究業績システムについては特に問題なく稼働している。しかし、公開する情報等、今後検討する必要がある。 4. 第3回目の助産評価機構認証評価を受けた。 現地調査後、7点の改善を要する点が指摘され、追加意見を送付した。 定員を恒常的に確保する点に関しては、2019年度の受験者数、入学者数が前年より13%増加した。 次年度は、大学全体での、入試時期の見直し、入試回数増加等を検討していく。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2018年度の大学基準協会による認証評価を受けて明らかになった課題に対する改善及び改善報告書の作成準備（3年計画） 2. 天使大学年報及び活動報告会の内容及び時期等の見直し 3. 自己点検評価委員会の役割及び権限を含めたあり方の検討、規程の見直しと改正案の作成 4. 内部質保証システムの確立に向けた研修会の企画運営 5. 定員の恒常的確保

自己点検・評価資料

目 次

1. 学事暦	24
2. 2018年度開講科目一覧	26
3. 学生数・奨学金の採用状況	28
4. 国家試験合格率	30
5. 就職・進学状況	31
6. 2019年度入学試験結果	32
7. 教員組織	34
8. 事務組織	36
9. 研究等の活動	37
10. 組織図	38
11. 会議の開催状況	39
12. 委員会構成一覧	50
13. 委員会の活動報告	52
14. 図書館の利用状況	65
15. 情報処理室の利用状況	66
16. 施設・設備の状況	67
17. 財務状況	69

1. 学事暦 (助産研究科)

【前期】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定等	
4月	1	2	3	4	5	6	7	3日(火)13:00~ 4日(水) 新入生オリエンテーション・2年次ガイダンス・定期健康診断 5日(木) 新入生修養会	
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30							
5月			1	2	3	4	5	7日(月) 基礎2年: 「マタニティサイケル独立助産実習」開始(前半グループ) 15日(火)午後 合唱コンクール	
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30	31				
6月						1	2	11日(月) 基礎1年: 「マタニティサイケル助産の基礎実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」開始 11日(月) 教育2年: 「臨床助産教育(clinical Teaching)実習」開始 15日(金) 基礎2年: 「マタニティサイケル独立助産実習」終了(前半グループ) 25日(月) 基礎2年: 「マタニティサイケル独立助産実習」開始(後半グループ)	
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
7月	1	2	3	4	5	6	7		
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						
8月				1	2	3	4	3日(金) 基礎2年: 「マタニティサイケル独立助産実習」終了(後半グループ) 10日(金) 基礎1年: 「マタニティサイケル助産の基礎実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」終了 10日(金) 教育2年: 「臨床助産教育(clinical Teaching)実習」終了 20日(月)~24日(金) 基礎1・2年、教育1年: 補講期間・前期定期試験 27日(月) 夏季休業開始	
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			
9月							1	14日(金) 夏季休業終了 25日(火) 基礎2年: 「マタニティサイケル助産の統合実習Ⅱ」開始(第1グループ) 25日(火) 教育2年: 修了感謝のミサ、学位記授与	
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30								

前期

学年	専攻	学内授業期間	臨地実習期間	
1年次	基礎	4月 3日(火) ~ 6月 8日(金)	基礎実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	6月11日(月) ~ 8月10日(金)
	教育	8月13日(月) ~ 8月24日(金)		
2年次	基礎	4月 2日(月) ~ 5月 4日(金)	独立助産実習(前半) 独立助産実習(後半)	5月 7日(月) ~ 6月15日(金) 6月25日(月) ~ 8月 3日(金) (期間内1人当り: 原則6週間)
	教育	4月 2日(月) ~ 8月24日(金)	臨床助産教育(clinical Teaching)実習	6月11日(月) ~ 8月10日(金) (期間内1人当り: 2週間)

【後期】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定等
1月		1	2	3	4	5	6	2日(火)午後 避難訓練 5日(金) 基礎2年:「マタニティイクル助産学統合実習Ⅱ」終了(第1グループ) 9日(火) 基礎2年:「マタニティイクル助産学統合実習Ⅱ」開始(第2グループ) 19日(金) 基礎2年:「マタニティイクル助産学統合実習Ⅱ」終了(第2グループ) 22日(月) 基礎2年:「マタニティイクル助産学統合実習Ⅱ」開始(第3グループ)
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				
1月					1	2	3	2日(金) 基礎2年:「マタニティイクル助産学統合実習Ⅱ」終了(第3グループ) 29日(月)~2日(金) 基礎1年: 演習、実習オリエンテーション 5日(月) 基礎1年:「マタニティイクル助産学統合実習Ⅰ」開始
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30		
1月							1	8日(土) 創立記念日 10日(月) 教育1年:「独立助産実習」開始 18日(火)午後 クリスマスの集い 25日(火) クリスマス降誕祭 26日(水) 基礎1・2年: 冬季休業開始
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30	31						
1月			1	2	3	4	5	4日(金) 基礎1・2年: 冬季休業終了 18日(金) 教育1年:「独立助産実習」終了 28日(月) 教育1年: 冬季休業開始
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31			
2月						1	2	8日(金) 教育1年: 冬季休業終了 8日(金) 基礎1年:「マタニティイクル助産学統合実習Ⅰ」終了
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28			
3月						1	2	1日(金) 修了前修養会 14日(木) 修了・卒業感謝の会 15日(金)10:00~ 修了証書・学位記授与式
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
	31							

後期

学年	専攻	学内授業期間	臨地実習期間	
1年次	基礎	9月25日(火) ~ 11月 2日(金) 2月12日(火) ~ 3月 1日(金)	統合実習Ⅰ	11月 5日(月) ~ 12月21日(金) 1月 7日(月) ~ 2月 8日(金)
	教育	9月25日(火) ~ 12月 7日(金) 2月12日(火) ~ 3月 1日(金)	独立助産実習	12月10日(月) ~ 1月18日(金) (期間内1人当り: 原則6週間)
2年次	基礎	9月25日(火) ~ 12月21日(金) 1月 7日(月) ~ 2月15日(金)	統合実習Ⅱ	9月25日(火) ~ 11月 2日(金) (期間内1人当り: 2週間)

2. 2018年度開講科目一覧

【助産基礎分野】

2017年度以降入学生対象

区分	授 業 科 目	学年	学期	単位数		授業区分			履修方法及び 修了要件
				必修	選択	講義	演習	実習	
基 礎 科 目	概念形成	助産学概論	1	前	1		1		
		助産哲学・倫理Ⅰ	1	後	1		1		
		助産哲学・倫理Ⅱ	2	後		1	1		
		出産の文化	1	前	1		1		
	専門基礎	女性のフィジカルイグザミネーション	1	前	1			1	
		助産薬理学Ⅰ	1	前	1		1		
		助産薬理学Ⅱ	2	前	1		1		
		妊産褥婦乳幼児の栄養	1	前	1		1		
		助産女性学	1	前	1		1		
		助産カウンセリング	1	後	1			1	
		健康教育論Ⅰ	1	前	1		1		
		健康教育論Ⅱ	2	前	1			1	
	助産機能	助産管理論Ⅰ	1	後	1		1		
		助産管理論Ⅱ	2	前	1		1		
		助産師教育論	2	前	1		1		
		助産師教育方法論	2	後		1	1		
		母子保健行政・財政論	1	後	1		1		
		母子保健活動論（疫学・統計を含む）	2	前	1		1		
実 践 専 門 科 目	マタニティサイ クル 助産ケア	マタニティサイクル助産ケアⅠ	1	通年	2		1	1	
		マタニティサイクル助産ケアⅡ	1	通年	2		1	1	
		マタニティサイクル助産ケアⅢ	1	通年	2		1	1	
		ハイリスク助産学Ⅰ	1	後	1		1		
		ハイリスク助産学Ⅱ	1	後	1		1		
		ハイリスク助産演習	2	前	1			1	
		独立助産実践概論	2	前	1		1		
		独立助産演習	2	前	1			1	
	マタニティサイ クル 助産ケア実践	マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅰ	1	前	2				2
		マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅱ	1	前	2				2
		マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅲ	1	前	2				2
		マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰ	1	後	6				6
		マタニティサイクル独立助産実習	2	前	6				6
		マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅱ	2	後	2				2
発 展 ・ 展 開 科 目	発展・展開	子育て支援論Ⅰ	1	後	1	①	1		
		子育て支援論Ⅱ	2	前後		1		1	
		子育て支援論演習	2	後		1		1	
		性教育Ⅰ	2	前	1	②	1		
		性教育Ⅱ	2	前後		1		1	
		性教育実習	2	後		2			2
		ウィメンズヘルスⅠ	1	後	1	③	1		
		ウィメンズヘルスⅡ	2	前後		1		1	
		ウィメンズヘルス演習	2	後		1		1	
		国際助産学Ⅰ	2	前	1	④	1		
		国際助産学Ⅱ	2	前後		1		1	
		国際助産学実習	2	後		2			2
特別統合研究科目	特別統合課題研究	2	通年	1			1		
合 計					53	12	26	15	24

修了要件は、選択科目3単位以上を含む56単位以上修得すること。なお、選択科目は、①から④のいずれかの領域の単位を必ず修得し、かつ①、③の領域を選択した場合は、

【助産教育分野】

2015年度以降入学生対象

区分	授業科目	学年	学期	単位数		授業区分			履修方法及び 修了要件	
				必修	選択	講義	演習	実習		
助産専門科目	概念形成	助産学概論	1	前	1		1			修了要件は選択科目8単位以上を含む 45単位以上を修得すること。
		助産哲学・倫理Ⅰ	1	後	1		1			
		助産哲学・倫理Ⅱ	1	後	1		1			
		出産の文化	1	前		1	1			
		助産女性学	1	前		1	1			
	助産教育技術	助産カウンセリング	1	後	1			1		
		健康教育論Ⅰ	1	前	1		1			
		健康教育論Ⅱ	2	前	1			1		
		女性のフィジカルイグザミネーション	1	前		1		1		
	助産ケア特論・実践	独立助産実践特論	1	前	1		1			
		独立助産演習	1	前	1			1		
		独立助産実習	1	後	6				6	
		助産薬理学	2	前		1	1			
		ハイリスク助産学Ⅰ	1	後		1	1			
		ハイリスク助産学Ⅱ	1	後		1	1			
	助産機能	助産管理論Ⅰ	1	後		1	1			
		助産管理論Ⅱ	1	前	1		1			
		母子保健行政・財政論	1	後		1	1			
		母子保健活動論（疫学・統計を含む）	2	前		1	1			
	発展・展開	子育て支援論	1	後		1	1			
性教育		1	前		1	1				
ウィメンズヘルス		1	後		1	1				
国際助産学		1	前		1	1				
教育科目	助産・看護教育	教育概論	1	前	2		2			
		教育計画(カリキュラム)の原理と展開	1	通年	2		2			
		教育計画(カリキュラム)の原理と展開演習	1	後	1			1		
		教授学習法の理論と展開	1	通年	2		2			
		教授学習法の理論と展開演習	1	後	1			1		
		教育評価	1	後	2		2			
		教育評価演習	1	後	1			1		
		教育機関の運営と評価	1	後	2		2			
		助産教育(Classroom Teaching)演習	2	前	1			1		
		助産教育(Classroom Teaching)実習	2	前	1				1	
		臨床助産教育(Clinical Teaching)演習	2	前	1			1		
		臨床助産教育(Clinical Teaching)実習	2	前	2				2	
	特別統合研究	助産研究法Ⅰ	1	前	1		1			
		助産研究法Ⅱ	1	後	1			1		
助産教育課題研究		2	前	2			2			
合計						37	13	29	12	9

3. 学生数・奨学金の採用状況

在籍者数

(2018年5月1日現在)

所属	学科・専攻	コース名等	収容定員	1年	2年	3年	4年	計	収容定員充足率	
看護栄養学部	看護学科		348	102	91 (2)	97 (7)	91 (8)	381 (17)	109.5%	
	栄養学科		350	99 (1)	88 (2)	93 (4)	84 (1)	364 (8)	104.0%	
		(うち編入生)	10	—	—	3	2	5 (0)	50.0%	
	小計			698	201 (1)	179 (4)	190 (11)	175 (9)	745 (25)	106.7%
助産大学院科	助産専攻	助産基礎分野	60	15	—	—	—	30	—	50.0%
		助産教育分野	20	1	—	—	—	1	—	5.0%
	小計			80	16	—	—	31	—	38.8%
看護栄養大学院 大学院科	看護学専攻	公衆衛生看護学コース	28	0	0	—	—	0 (0)	46.4%	
		精神看護学コース		0	0	—	—	0 (0)		
		成人看護学コース ホスピス緩和ケア看護学 コース		1	0	—	—	1 (0)		
				2	2	—	—	4 (0)		
		保健師コース		6	2	—	—	8 (0)		
	栄養管理学専攻	博士前期課程	6	1	1 (1)	—	—	2 (1)	33.3%	
		博士後期課程	6	3 (1)	0	2	—	5 (1)	83.3%	
小計			40	13 (1)	5 (1)	2 (0)	—	20 (2)	50.0%	
合計			818	230 (2)	199 (5)	192 (11)	175 (9)	796 (27)	97.3%	

社会人学生数

(2018年5月1日現在)

所属	学科	1年	2年	3年	4年	計
看護栄養学部	看護学科					0 (0)
	栄養学科					0 (0)
	小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

奨学金の種類と採用数（2019年3月現在）

奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円または50,000円	無利子貸与	3人
日本学生支援機構奨学金	第一種	月 額	50,000円または88,000円	無利子貸与	12人
	第二種	月 額	50,000円、80,000円 100,000円、130,000円 150,000円	有利子貸与 利率変動3%以内	3人
天使大学同窓会奨学金		年 額	300,000円	無利子貸与	0人
日本助産師会奨学金		月 額	50,000円	無利子貸与	1人
北海道看護職員養成修学資金		月 額	32,000円	無利子貸与。貸与期間にかかわらず、道内に5年以上助産師として勤務した場合返還免除となる	7人
その他の奨学金		釧路赤十字病院看護系奨学金 竹田総合病院奨学金			2人
合 計					28人

4. 国家試験合格率

国家試験合格率（2018年度）

学 部・学 科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100	全国合格率 (%)
看護栄養学部看護学科	看護師国家試験	87 人	84 人	96.6%	94.7%
看護栄養学研究科看護専攻	保健師国家試験	2 人	2 人	100.0%	88.1%
助産研究科助産専攻	助産師国家試験	13 人	13 人	100.0%	99.9%
看護栄養学部栄養学科	管理栄養士国家試験	83 人	78 人	94.0%	95.5%

5. 就職・進学状況

〔就職希望者〕

分野		助産基礎分野	助産教育分野	計	卒業者に対する割合
就職希望の有無	希望有りの者	13	0	13	100.0%
	希望無しの方	0	0	0	0.0%
計(修了者数)		13	0	13	100.0%

〔就職決定者〕

分野	助産基礎分野	助産教育分野	計	就職者に対する割合
決定数/決定率	13	0	13	100.0%

〔地域別・就職別決定者〕

分野		助産基礎分野	助産教育分野	計	就職者に対する割合
地域別	道外	6	0	6	46.2%
	道内	7	0	7	53.8%
	市内(再掲)	(5)	(0)	(5)	(38.5%)
職種別	助産師	13	0	13	100.0%
	教員	0	0	0	0.0%
	上記以外	0	0	0	0.0%

2018年度求人件数・人数（2019年3月31日現在）

〔看護職〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
看護師	49	105	192	297	1,043	1,803	8,776	10,579
保健師	3	131	23	154	10	218	114	332
助産師	12	35	99	134	33	97	545	642
計	64	271	314	585	1,086	2,118	9,435	11,553

〔栄養士職〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
栄養士	49	78	40	118	554	589	2,903	3,492
管理栄養士	60	152	52	204	635	760	2,518	3,278
栄養教諭	4	12	3	15	12	24	9	33
食品衛生監視員	3	3	1	4	5	5	20	25
その他 保健医療従事者	4	10	4	14	8	53	303	356
計	120	255	100	355	1,214	1,431	5,753	7,184

〔一般職・その他〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
一般	87	154	149	303	1,066	1,709	5,996	7,705
合計	271	680	563	1,243	3,366	5,258	21,184	26,442

注1 (市内)は道内の内数

注2 若干名は3とカウントする

注3 保健師・助産師求人人数は人数を明記してある場合以外は3とカウントする

6. 2019年度入試結果

2019年度天使大学・大学院入学試験結果

看護栄養学部

* () は、昨年度の数字です

◆看護学科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
指定校推薦	40	5	(6)	5	(6)	5	(6)	5	(6)	1.0
公募制推薦		46	(53)	46	(53)	35	(35)	35	(35)	1.3
社会人	37	3	(2)	3	(2)	0	(0)	0	(0)	—
一般		289	(296)	285	(293)	94	(85)	46	(36)	3.0
センター利用	10	180	(132)	180	(132)	28	(36)	10	(25)	6.4
総計	87	523	(489)	519	(486)	162	(162)	96	(102)	3.2

◆栄養学科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
指定校推薦	42	3	(4)	3	(4)	3	(4)	3	(4)	1.0
公募制推薦		51	(43)	51	(43)	39	(38)	39	(38)	1.3
社会人	33	1	(0)	1	(0)	0	(0)	0	(0)	—
一般		69	(89)	69	(89)	44	(45)	37	(44)	1.6
センター利用	10	52	(68)	52	(68)	12	(16)	10	(13)	4.3
総計	85	176	(204)	176	(204)	98	(103)	89	(99)	1.8

大学院 看護栄養学研究科

◆看護学専攻

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
推薦	14	3	(0)	2	(0)	2	(0)	2	(0)	1.0
一般前期		7	(8)	7	(8)	5	(8)	5	(8)	1.4
一般後期		3	(2)	3	(2)	3	(1)	3	(1)	1.0
老年看護CNS		1	—	1	—	1	—	1	—	1.0
総計	14	14	(10)	13	(10)	11	(9)	11	(9)	1.2

◆栄養管理学専攻 博士前期課程

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
一般前期	3	2	(0)	2	(0)	1	(0)	1	(0)	2.0
一般後期		3	(1)	2	(1)	1	(1)	1	(1)	2.0
総計	3	5	(1)	4	(1)	2	(1)	2	(1)	2.0

◆栄養管理学専攻 博士後期課程

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
一般前期	2	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	—
一般後期		0	(3)	0	(3)	0	(3)	0	(3)	—
総計	2	0	3	0	3	0	3	0	3	—

大学院 助産研究科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)	
基礎分野	推薦	10	11	(5)	10	(5)	10	(4)	10	(4)	1.0
	前期一般	15	10	(7)	9	(7)	8	(7)	8	(7)	1.1
	前期社会人		2	(4)	2	(4)	1	(4)	1	(4)	2.0
	後期一般	5	2	(1)	2	(1)	2	(1)	1	(1)	1.0
	後期社会人		0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	—
分教 野育	前期	10	2	(1)	2	(1)	2	(0)	2	(0)	1.0
	後期		0	(1)	0	(1)	0	(1)	0	(1)	—
総計	40	27	(19)	25	(19)	23	(17)	22	(17)	1.1	

7. 教員組織

教員組織一覽

(2018年5月1日現在)

所 属		教授	准教授	講師	助教	助手	計
大学院	助産研究科	8人	0人	0人	3人	0人	11人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	33人
看護栄養学部	看護学科	5人	9人	6人	8人	4人	32人
	栄養学科	7人	6人	5人	2人	3人	23人
	教養教育科	3人	3人	0人	0人	0人	6人
	計	15人	18人	11人	10人	7人	61人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	93人
合計		23人	18人	11人	13人	7人	198人

専任教員年齢構成

(2018年5月1日現在)

所属	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	25歳以下	計
助産研究科	教授	1	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	7
		14.3%	0.0%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%
	講師	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%
	助教	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	
計	1	0	4	2	2	0	1	0	1	0	0	11	
	9.1%	0.0%	36.4%	18.2%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	100%	
助手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	
小計	1	0	4	2	2	0	1	0	1	0	0	11	
	9.1%	0.0%	36.4%	18.2%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	100%	
看護栄養学部・看護栄養学研究科	教授	1	9	5	0	2	1	0	0	0	0	0	18
		5.6%	50.0%	27.8%	0.0%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	3	2	6	3	1	0	0	0	0	15
		0.0%	0.0%	20.0%	13.3%	40.0%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	講師	0	0	0	2	3	2	5	0	0	0	0	12
		0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	25.0%	16.7%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	3	2	3	3	0	0	0	11
0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	18.2%	27.3%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
計	1	9	8	4	14	8	9	3	0	0	0	56	
	1.8%	16.1%	14.3%	7.1%	25.0%	14.3%	16.1%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
助手	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	4	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	100%	
小計	1	9	8	4	14	8	9	3	3	1	0	60	
	1.7%	15.0%	13.3%	6.7%	23.3%	13.3%	15.0%	5.0%	5.0%	1.7%	0.0%	100%	
合計	2	9	12	6	16	8	10	3	4	1	0	71	
	2.8%	12.7%	16.9%	8.5%	22.5%	11.3%	14.1%	4.2%	5.6%	1.4%	0.0%	100%	

※定年：65歳

教員の任免・昇任者一覧

(2019年3月31日現在)

学科・科	採用者					昇任者		退職者				
	教授	准教授	講師	助教	助手	講師から 准教授	助教から 講師	教授	准教授	講師	助教	助手
助産研究科	1人	0人	0人	1人	0人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	0人
看護学科	5人	0人	0人	4人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人
栄養学科	0人	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
教養教育科	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	6人	0人	0人	5人	1人	0人	3人	0人	1人	0人	0人	0人

8. 事務組織

(2018年5月1日現在)

区分	部門	専任職員		常勤嘱託 職 員	臨時職員	派遣職員	そ の 他	計
			うち管理職					
法人 業務系	事務局長	0	0	1	0	0	0	1
	参与	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	0	0	1
大学 業務系	総務課	3	1	5	1	0	0	9
	学務課	5	0	5	1	0	2	13
	図書情報課	4	1	3	0	0	0	7
	財務室	3	1	2	1	0	5	11
	入試・広報室	3	1	1	0	0	0	4
	計	18	4	16	3	0	7	44
合 計		18	4	17	3	0	7	45

9. 研究等の活動

独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業（代表者）の採択状況

		種別	研究代表者	研究課題
1	継続	基盤研究(C)	小澤 芳子	若年認知症の親を持つ子どもへの支援の構築
2	継続	基盤研究(C)	鹿内 信善	聴覚障害児の言語活動を充実させる看図アプローチを用いた教材開発・授業開発
3	継続	基盤研究(C)	松下 真美	ω 3脂肪酸のヒト褐色脂肪に対する作用とその抗メタボ効果
4	新規	基盤研究(C)	田中 さおり	SGA性低身長症児と家族のGH療法をシームレスに支える看護支援プログラムの開発
5	新規	基盤研究(C)	中田 かおり	正期産期の血圧の安定につながる妊婦の水とくらしに関する研究
6	新規	基盤研究(C)	吉田 礼維子	住民の視点による介護予防システムの評価指標の開発と有用性の検討
7	新規	若手研究	高桑 暁子	離乳食の新しい指標としての α ディフェンシンによる腸内細菌叢制御の解明

特別研究費の助成状況

		種別	研究代表者	研究課題
1		特別研究費	新谷 恵子	看護基礎教育における能動的学習支援の可能性
2		特別研究費	小澤 芳子	模擬患者（Simulated Patient）養成プログラムの開発
3		特別研究費	重岡 妙	患者－看護者関係における看護学生の振り返り－プロセスレコードの内容の分析－
4		特別研究費	河嶋 亜衣	初産婦に対する産後早期の睡眠教育プログラムの開発
5		特別研究費	小澤 涼子	女性新規就農者が新たな生活を通して健康を獲得するプロセス
6		特別研究費	鈴木 純子	糖質制限食摂取後の代謝変化に摂取時間帯が及ぼす影響－夕食時における健常者を対象とした糖質制限食の影響に焦点を当てて－

受託研究等

	種別	代表者	担当者	研究・事業名
1	奨学寄付	鈴木 純子	－	天使大学看護栄養学部栄養学科および看護栄養学研究科栄養管理栄養学専攻における教育研究の発展の寄与に対する助成
2	受託研究	鈴木 純子	－	鰹だし汁のヒト介入試験による機能性評価

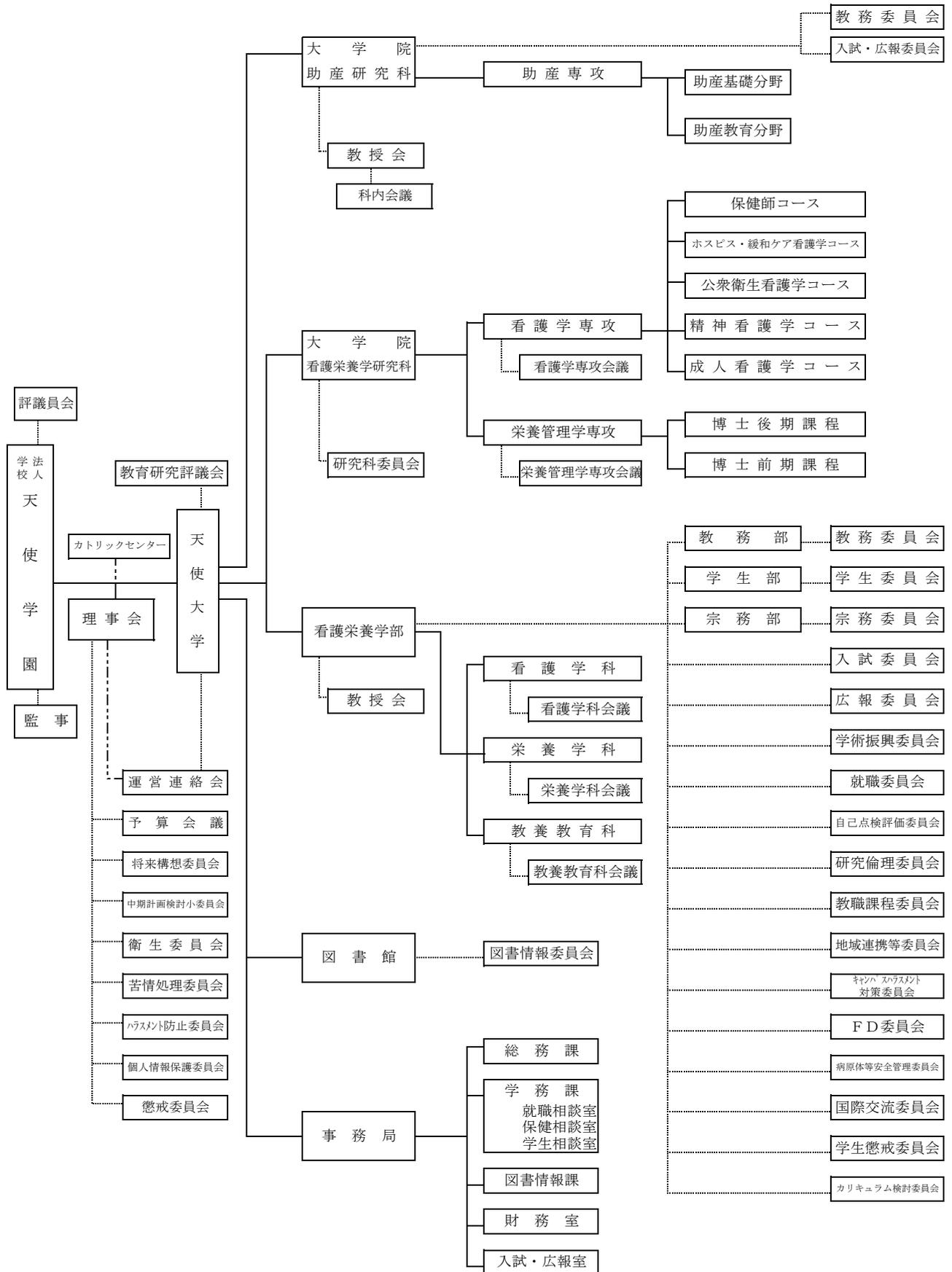
その他の活動

分類	活動内容
札幌市東区保健福祉部・東区健康づくり連絡協議会との連携	2018年度は、学部生による「広報さっぽろ東区版及びホームページでのレシピの紹介」、「食育推進ネットワーク事業への参加」、「天使祭での健康相談・地域の健康づくり活動の紹介」、「東区若者向け料理教室」など、7事業に参加しました。
天使大学、札幌大谷大学、北海道体育大学校、札幌保健医療大学および札幌市東区による地域連携協定	札幌市東区、天使大学、札幌大谷大学、札幌保健医療大学及び北海道体育大学校による地域連携協定に基づき、2018年10月21日につどーむで開催された地域住民向けのスポーツイベントにおいて、「天使大の健康塾」を設け、看護栄養学部の学生たちが参加者への食事のアドバイスや血圧測定を行いました。

10. 組織図

学校法人天使学園 管理運営組織図

天使大学大学院 助産研究科
 天使大学大学院 看護栄養学研究科
 天使大学 看護栄養学部



11. 会議の開催状況

看護栄養学部教授会

開催日時	議 案 名
臨時 4月2日(月) 13:27	1. 審議事項 なし 2. 報告事項 ①2018年度一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験の追加合格について ②2018年度校務分掌・委員会一覧について 3. 意見聴取事項 なし
第1回 4月10日(火) 17:10	1. 審議事項 なし 2. 報告事項 ①2018年度アッセンブリー・アワーの実施について ②2018年度イースターの集い、今後のミサについて ③2018年度学校医（内科医・精神神経科医）について ④2017年度学生の英語力の変化について ⑤2018年度事業計画及び予算について ⑥休学・退学の許可について 3. 意見聴取事項 なし
第2回 5月16日(水) 17:10	1. 審議事項 ①2019年度看護栄養学部学生募集要項及び指定校推薦入学試験学生募集要項について ②2018年度既修得単位の認定・単位授与について 2. 報告事項 ①2018年度教員免許状更新講習の実施について ②新入学生に対する英語および化学・生物のテストについて ③2018年度天使祭について ④2018年度葦の会役員、部活動団体について ⑤天使大学と北海道科学大学との教育・研究等に関する包括連携協定書について ⑥2018年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座について ⑦2018年度科学研究費助成事業の交付状況について ⑧研究生の受入れ終了について ⑨休学・退学の許可について ⑩在籍者数（2018年5月1日現在）について ⑪2019年の卒業証書・学位記授与式・入学式の日程について ⑫キャンパス整備プロジェクトの実施に伴う対応について

	<p>⑬教員の退職について</p> <p>3. 意見聴取事項</p> <p>①教員の採用に係る募集大綱について</p>
<p>第3回</p> <p>6月12日(火)</p> <p>16:58</p>	<p>1. 審議事項 なし</p> <p>①2018年度非常勤講師の委嘱取消について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①再試験の取扱いについて</p> <p>②2018年度のFD研修会について</p> <p>③参与の採用について</p> <p>④看護栄養学部の入学定員について</p> <p>⑤学業成績優秀者奨励金対象者について</p> <p>⑥休学の許可について</p> <p>3. 意見聴取事項</p> <p>①教員の採用に係る募集大綱について</p>
<p>第4回</p> <p>7月10日(火)</p> <p>16:55</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2019年度看護栄養学部外国人留学生入学試験要綱について</p> <p>②2018年度体育祭の日程変更について</p> <p>③2019年度合唱コンクールについて</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①2018年度特別研究費の採択について</p> <p>②休学の許可について</p> <p>③情報処理室利用者のための飲食可能スペースの紹介について</p> <p>④先行工事のスケジュール及び引越等について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>臨時</p> <p>8月2日(木)</p> <p>16:30</p>	<p>1. 審議事項 なし</p> <p>2. 報告事項 なし</p> <p>3. 意見聴取事項</p> <p>①教員の採用に係る募集大綱について</p>
<p>第5回</p> <p>9月11日(火)</p> <p>17:05</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2018年度既修得単位の認定・単位授与について</p> <p>②2018年度看護学科の前期卒業判定について</p> <p>③2019年度非常勤講師の委嘱変更について</p> <p>④2018年度海外研修旅行の実施について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①2018年度教職員修養会の日時について</p> <p>②2018年度後期宗務行事予定について</p> <p>③大学基準協会認証評価実地調査について</p> <p>④休学・復学・退学の許可について</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ⑤2018 年度戴帽式の実施について ⑥2018Food and Life Step-up Ceremony の実施について ⑦2018 年度前期卒業証書・学位記授与式の実施について ⑧2019 年度人事方針について <p>1. 意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教員の採用に係る募集大綱について
<p>第6回 10月9日(火) 17:02</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①入学者の追跡調査の実施について ②緊急連絡網の作成及び運用について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①休学・退学の許可について <p>3. 意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教員の採用に係る募集大綱について
<p>第7回 11月13日(火) 16:50</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2020 年度入学試験日程について ②2020 年度入学式日程について ③2019 年度非常勤講師の委嘱について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2018 年度クリスマス関連行事の予定について ②2018 年度特別研究費による研究報告会について ③2018 年度体育祭の実施について ④被災した 2019 年度入学志願者に関する入学検定料・入学金・授業料の減免について ⑤災害危機管理マニュアルの作成に向けたワーキンググループの設置について ⑥天使大学キャンパス・マスタープラン 2018 (案) について <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>臨時 11月21日(水) 17:00</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度推薦入学試験及び社会人入学試験における合否判定について <p>2. 報告事項 なし</p> <p>3. 意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学生の懲戒について
<p>第8回 12月11日(火) 16:53</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度非常勤講師の委嘱について ②2019 年度学事暦 (案) について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①FD委員会で検討中の事項について ②東アジア及び東南アジアカトリック大学連盟 (Association of Southeast

	<p>and East Asian Catholic Colleges and Universities : ASEACCU) の加盟について</p> <p>③教員の採用及び雇用契約更新について</p> <p>④看護学科定員増に関する対応状況について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第9回</p> <p>1月15日(火)</p> <p>16:20</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2019年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①教員の採用について</p> <p>②危機管理マニュアルについて</p> <p>③授業概要の作成要領について</p> <p>④2018年度活動報告会の開催について</p> <p>⑤内部質保証に関する講演会について</p> <p>⑥2018年度第2回FD研修会について</p> <p>⑦「天使祭+ (プラス) 2019」の実施について</p> <p>⑧2018年度3月の宗務行事予定について</p> <p>⑨節電対策の一時的解除について</p> <p>⑩看護学科定員増に関する理事会での再審議について</p> <p>⑪栄養学科定員増に関する理事会での再審議について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第10回</p> <p>2月12日(火)</p> <p>16:50</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2019年度一般入学試験(栄養学科)の合否判定について</p> <p>②2021年度入学者選抜(案)について</p> <p>③2019年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>④天使大学看護栄養学部履修規程の一部改正について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①看護栄養学部の入学定員の改訂について</p> <p>②2018年度卒業証書・学位記授与式実施要領について</p> <p>③教員の採用及び昇任について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>臨時</p> <p>2月15日(金)</p> <p>16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2019年度一般入学試験(看護学科)の合否判定について</p> <p>2. 報告事項 なし</p> <p>3. 意見聴取事項</p> <p>①看護学科及び栄養学科の入学定員及び収容定員の改正並びに栄養学科編入 学の廃止に伴う「天使大学学則」の一部改正について</p>
<p>臨時</p> <p>2月22日(金)</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2019年度大学入試センター試験利用入学試験の合否判定について</p>

16:30	2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
臨時 2月26日(火) 16:50	1. 審議事項 ①2018年度卒業判定について ②2018年度教職課程修了判定について ③2019年度科目等履修生の受入れについて 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
第11回 3月14日(木) 16:30	1. 審議事項 ①2019年度 既修得単位の認定・単位授与について ②2018年度進級判定について ③2019年度非常勤講師の委嘱・変更・取消について ④看護栄養学部 2020年度(2019年度実施)以降入学試験における合否判定会議(案)について ⑤2021年度 入学者選抜(案)について ⑥授業料未納に伴う除籍について 2. 報告事項 ①専任教員の新規授業科目の担当について ②2019年度 合唱コンクールの実施について ③2019年度入学式実施要領について ④教員の雇用契約の更新について ⑤教員の退職について ⑥休学・復学・退学の許可について ⑦学生の懲戒に関する規程の改正について ⑧学生の自宅火災に対する本学としての対応について ⑨「天使大学研究活動における不正行為への対応に関する規程」の改正について 3. 意見聴取事項 ①天使大学看護栄養学部履修規程の一部改正について

大学院助産研究科教授会

開催日時	議 案 名
第1回 4月11日(水) 16:30	1. 審議事項 ①3ポリシーの策定について ②臨床教授制度の検討に関するワーキンググループの設置について 2. 報告事項 ①2018年度イースターの集い、毎週のミサについて ②2018年度合唱コンクールの実施について

	<p>③2018 年度学校医（内科医・精神神経科医）について</p> <p>④2018 年度事業計画及び予算について</p> <p>⑤休学・復学の許可について</p> <p>⑥2018 年度校務分掌・委員会一覧について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 2 回</p> <p>5 月 16 日(水)</p> <p>15:00</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2019 年度助産研究科学生募集要項について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①2017 年度日本学生支援機構大学院第一種奨学金返還免除候補者について</p> <p>②天使大学と北海道科学大学との教育・研究等に関する包括連携協定書について</p> <p>③2018 年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座について</p> <p>④2018 年度科学研究費助成事業の交付状況について</p> <p>⑤在籍者数（2018 年 5 月 1 日現在）について</p> <p>⑥2019 年の卒業証書・学位記授与式・入学式の日程について</p> <p>⑦キャンパス整備プロジェクトの実施に伴う対応について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 3 回</p> <p>6 月 6 日(水)</p> <p>15:33</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①助産研究科映像作成について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①8 号館 2 階院生学習室の先行工事について</p> <p>②参与の採用について</p> <p>③2018 年度 F D 研修会について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 4 回</p> <p>7 月 13 日(金)</p> <p>15:03</p>	<p>1. 審議事項 なし</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①2018 年度特別研究費の採択について</p> <p>②先行工事のスケジュール及び引越等について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 5 回</p> <p>9 月 12 日(水)</p> <p>16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2018 年度科目等履修生の後期履修科目追加について</p> <p>②2018 年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>③助産研究科入学試験合否判定基準の一部改正について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①2018 年度教職員修養会の日時について</p> <p>②2018 年度後期宗務行事予定について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>臨時</p>	<p>1. 審議事項</p>

9月26日(水) 15:35	<ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度助産基礎分野推薦入学試験の合否判定について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
第6回 10月10日(水) 16:30	<ul style="list-style-type: none"> 1. 審議事項 なし <ul style="list-style-type: none"> ①2020 年度入学試験日程について ②緊急連絡網の作成及び運用について 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度人事方針について ②退学の許可について 3. 意見聴取事項 <ul style="list-style-type: none"> ①教員の採用に係る募集大綱について
臨時 10月24日(水) 16:38	<ul style="list-style-type: none"> 1. 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度助産研究科前期入学試験の合否判定について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
第7回 11月14日(水) 15:03	<ul style="list-style-type: none"> 1. 審議事項 なし 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ①2018 年度クリスマス関連行事の予定について ②休学の許可について ③災害危機管理マニュアルの作成に向けたワーキンググループの設置について ④天使大学キャンパス・マスタープラン2018(案)について 3. 意見聴取事項 なし
第8回 12月12日(水) 15:03	<ul style="list-style-type: none"> 1. 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度非常勤講師の委嘱について ②2019 年度天使大学大学院助産研究科学事暦(案)について ③2020 年度入学式日程等について 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ①FD委員会で検討中の事項について ②東アジア及び東南アジアカトリック大学連盟 (Association of Southeast and East Asian Catholic Colleges and Universities : ASEACCU) の加盟について ③教員の雇用契約更新について 3. 意見聴取事項 なし
第9回 1月30日(水) 15:00	<ul style="list-style-type: none"> 1. 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度助産研究科入学試験(後期)の合否判定について 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ①嘱託教員の採用について

	<ul style="list-style-type: none"> ②教員の退職について ③危機管理マニュアルについて ④2018 年度活動報告会の開催について ⑤内部質保証に関する講演会について ⑥2018 年度第 2 回 FD 研修会について ⑦2018 年度 3 月の宗務行事予定について ⑧節電対策の一時的解除について <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 10 回</p> <p>2 月 20 日 (水)</p> <p>16:28</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度非常勤講師の委嘱について ②2019 年度国際助産学実習の実習場所変更の教員派遣について ③天使大学大学院助産研究科臨床教授等の称号付与に関する規程（案）について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2018 年度卒業証書・学位記授与式実施要領について ②2019 年度研究室の配置換えに伴う 8 号館研究室の変更について <p>3. 意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教員の採用に係る募集大綱について
<p>臨時</p> <p>2 月 27 日 (水)</p> <p>16:33</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2018 年度助産基礎分野の修了判定について <p>2. 報告事項 なし</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 11 回</p> <p>3 月 19 日 (火)</p> <p>16:34</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度授業科目開講期の一部変更について ②2019 年度非常勤講師の委嘱について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度授業科目担当者について ②2019 年度合唱コンクールの実施について ③2019 年度入学式実施要領について ④退学の許可について <p>3. 意見聴取事項 なし</p>

大学院看護栄養学研究科委員会

開催日時	議 案 名
<p>第 1 回</p> <p>4 月 10 日 (火)</p> <p>16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2018 年度看護栄養学研究科開講科目一覧について ②2018 年度非常勤講師の委嘱・変更・取消について <p>2. 報告事項</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ①2018 年度校務分掌・委員会一覧について ②休学の許可について ③2018 年度看護学専攻新任教員新規担当科目について ④2018 年度看護学専攻研究計画審査及び発表会の実施について ⑤2018 年度栄養管理学専攻博士前期・後期課程新入学生の研究指導教員について ⑥2018 年度事業計画及び予算について <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 2 回 5 月 16 日 (水) 16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①天使大学大学院看護栄養学研究科学則の一部改正について ②2019 年度看護栄養学研究科学生募集要項について ③2018 年度看護学専攻学位論文研究計画書の審査及び指導教員について ④2018 年度非常勤講師の委嘱・取消について ⑤2018 年度非常勤講師の取消について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2018 年度科学研究費助成事業の交付状況について ②2017 年度日本学生支援機構大学院第一種奨学金返還免除候補者について ③天使大学と北海道科学大学との教育・研究等に関する包括連携協定書について ④2018 年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座について ⑤学位規程等の改正について ⑥在籍者数（2018 年 5 月 1 日現在）について ⑦2019 年の卒業証書・学位記授与式・入学式の日程について ⑧キャンパス整備プロジェクトの実施に伴う対応について <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 3 回 6 月 12 日 (火) 16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度看護栄養学研究科学生募集要項について ②2018 年度非常勤講師の取消について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2018 年度栄養管理学専攻博士前期課程学位論文研究計画書について ②2019 年度栄養管理学専攻学位論文中間発表会の開催について ③8 号館 2 階院生学習室の先行工事について <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 4 回 7 月 10 日 (火) 16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①老年看護 CNS コース増設（追加）に伴う大学院看護栄養学研究科学則並びに履修規程の一部改正について ②2018 年度非常勤講師の委嘱について <p>2. 報告事項</p>

	①2018 年度特別研究費の採択について ②先行工事のスケジュール及び引越等について 3. 意見聴取事項 なし
第 5 回 9 月 11 日 (火) 16:30	1. 審議事項 ①2018 年度非常勤講師の委嘱について ②2018 年度特別講師の委嘱について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
臨時 9 月 26 日 (火) 16:30	1. 審議事項 ①2019 年度看護栄養学研究科看護学専攻保健師コース推薦入学試験の合否判定について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
第 6 回 10 月 9 日 (火) 16:35	1. 審議事項 ①緊急連絡網の作成及び運用について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
臨時 10 月 24 日 (火) 17:15	1. 審議事項 ①2019 年度一般入学試験（前期）の合否判定について ②2018 年度学位論文関連スケジュールについて ③2018 年度長期履修学生期間変更申請の許可について ④2020 年度入学試験日程について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
第 7 回 11 月 13 日 (火) 16:30	1. 審議事項 ①2018 年度学位論文提出予定者の主査及び副査について ②2019 年度老年看護 CNS コース学生募集要項について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
第 8 回 12 月 11 日 (火) 16:30	1. 審議事項 ①2018 年度学位論文提出予定者の主査及び副査について ②2018 年度学位論文発表会（保健師コース）の開催について ③大学院看護栄養学研究科学則の一部改正について ④大学院看護栄養学研究科履修規程の一部改正について ⑤2019 年度学事暦（案）について ⑥2019 年度非常勤講師の委嘱について ⑦2020 年度入学式日程等について 2. 報告事項

	<p>①2018 年度看護学専攻 F D 研修会について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 9 回</p> <p>1 月 15 日 (火)</p> <p>16:00</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①大学院看護栄養学研究科学則の一部改正について</p> <p>②大学院看護栄養学研究科における単位互換に関する規程の制定について</p> <p>③2019 年度専任教員の新規担当科目について</p> <p>④2019 年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①2018 年度栄養管理学専攻 F D 研修会について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>臨時</p> <p>1 月 30 日 (水)</p> <p>16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2019 年度一般入学試験 (後期) の合否判定について</p> <p>②2018 年度学位論文発表会 (ホスピス緩和ケア看護学コース、博士前期課程) の開催について</p> <p>2. 報告事項 なし</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 10 回</p> <p>2 月 12 日 (火)</p> <p>16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2019 年度看護栄養学研究科看護学専攻老年看護 C N S コース入学試験について</p> <p>②2019 年度非常勤講師の委嘱および訂正について</p> <p>③2019 年度特別講師の委嘱について</p> <p>2. 報告事項 なし</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>臨時</p> <p>2 月 26 日 (火)</p> <p>16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2018 年度修了判定について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①2018 年度看護栄養学研究科学位論文審査報告書について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 11 回</p> <p>3 月 6 日 (水)</p> <p>16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①看護学専攻老年看護 C N S コース入学試験の合否判定について</p> <p>②2019 年度長期履修学生申請の許可について</p> <p>③2019 年度看護学専攻専任教員の新規担当科目について</p> <p>④2019 年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①看護栄養学研究科看護学専攻老年看護 C N S コースの認定について</p> <p>②教員の退職について</p> <p>3. 意見聴取事項</p> <p>①大学院看護栄養学研究科学則の一部改正について</p>

12. 委員会構成一覽

2018年度校務分掌 委員会一覽

2018.7.1現在

教育研究評議会	学長、副学長、看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、図書館長、宗務部長、教務部長、学生部長、事務局長、助産研究科教務委員長
---------	--

【看護栄養学部関係】

◎看護学科長:吉田礼維子 ◎栄養学科長:山口敦子 ◎教養教育科長:川口雄一

学部教授会	学長、副学長、看護学科:吉田(礼)・菅原・中田・蝦名・小澤(芳)・新谷・山本、栄養学科:山口・進藤・菊池・山部、教養教育科:川口・鹿内・堀井・田島
-------	---

区分	委員会名	委員長	委員	人数	任期	事務局
常設委員会	教務委員会	川口	教務部長:川口、看護学科長、栄養学科長、(教養教育科長)、教職課程委員長、看護:木津、栄養:吉田(真)、教養:小原	8	2年	学務課
	学生委員会	鹿内	学生部長:鹿内、看護:柴田・田中(さ)、栄養:岩淵・長谷川、教養:日時	6	2年	学務課
	宗務委員会	スレイマン	宗務部長、司祭:スレイマン、看護:重岡・田中(裕)、栄養:金澤・高桑、教養:堀井、助産:三浦、事務局:菊池	9	2年	学務課
	図書情報委員会	高木	図書館長:高木、看護:小澤(涼)、伊織、栄養:清水・志賀、教養:日時、助産:三浦、図書情報課長	8	2年	図書情報課
	入試委員会	山本	看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、看護:大野、栄養:金澤、教養:(川口)、入試・広報室長	7	2年	入試広報室
	広報委員会	菅原	看護:菅原・伊藤・若山、栄養:峯岸・松下、教養:田島、入試・広報室長	7	2年	入試広報室
	自己点検評価委員会	山部	看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、看護:高木、栄養:山部、教養:(川口)、助産:本宿、事務局長	10	2年	総務課
	FD委員会	中田	看護:中田・針金、栄養:岡部、教養:鹿内、助産:津田、副学長:高木	6	2年	総務課
	学術振興委員会	堀井	看護:高橋、栄養:西、教養:堀井、助産:本宿	4	2年	図書情報課
	地域連携等委員会	小澤(芳)	看護:小澤(芳)・小澤(涼)、栄養:長谷川、教養:小原、助産:今崎	5	2年	学務課
	就職委員会	清水	看護:前田、栄養:清水・岡部、教養:新井	4	2年	学務課
	教職課程委員会	新井	教職科目担当:山部、鹿内、新井、岩淵、松下	5	2年	学務課
	研究倫理委員会	堀井	助産研究科長、看護栄養学研究科長、学長指名:新谷・鈴木、堀井、岩間、〔学外:小野滋男、久々湊晴夫〕	8	2年	財務室
	キャンパス・ハラスメント対策委員会	蝦名	学生部長、看護:蝦名、栄養:山部、教養:田島、助産:本宿、事務局長、職員:平野	7	2年	総務課
	病原体等安全管理委員会	菊池	専門:菊池・岩淵、感染予防:武藏、学校医:西村	4	2年	財務室
国際交流委員会	学長	学長、教務部長、学生部長、栄養:志賀、看護:臺野、教養:川口、看栄研:鈴木、助産:津田、事務局長、学長指名:看護 高木	9	2年	総務課	
特設	学生懲戒委員会	その都度	学生部長、看護:、栄養:、教養:、助産:	5	2年	学務課
時限	カリキュラム検討委員会	武藏	学長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長(教務部長)、事務局次長:梅村、学長指名:看護 高木・菅原・大野、栄養 吉田(真)、教養 日時	10	2年	学務課

名 称	構 成 員
看護:学生支援教員	1年:○木津、小澤(芳)、柴田、高橋、新関、伊織、田中(裕)、福田 2年:○伊藤、中田、秋山、横山、中洞、小島 3年:○臺野、山本、針金、前田、若山、河嶋 4年:○佐々木、蝦名、大野、小澤(涼)、田中(さ)、重岡
栄養:学生支援教員	1年:○岡部、山部、西、長谷川、金 2年:○岩淵、菊池、金澤、高桑、金野 3年:○清水、進藤、鈴木、竹中 4年:○峯岸、志賀、吉田(真)、松下、丁 ※ ○はリーダー(看護・栄養共通)

名 称	リーダー	構 成 員
ヘルスケア実践開発プロジェクト	山口	看護:菅原・佐々木 栄養:山口・長谷川・高桑 助産:今崎

名 称	構 成 員
後援会講演ワーキング	看護:蝦名・秋山、栄養:山部・岩淵、教養:小原 事務局:総務課

【大学院看護栄養学研究科関係】

◎研究科長:進藤正信 ◎看護学専攻主任:新谷恵子 ◎栄養管理学専攻主任:鈴木純子
--

研究科委員会	研究科長、看護学専攻主任、栄養管理学専攻主任、看護学専攻:菅原、中田、蝦名、小澤(芳)、吉田(礼)、山本、高木、伊藤、大野、柴田、針金、小澤(涼)、佐々木、前田、若山、栄養管理学専攻:武藏、菊池、山口、山部、志賀、清水、西、岩淵、松下
--------	---

【大学院助産研究科関係】

◎研究科長:本宿美砂子

助産研究科教授会	学長、研究科長、近藤、今崎、津田、臨床専任教員:山本、高室、宮下
----------	----------------------------------

区分	委員会名	委員長	委 員
委員会等	研究科会議	研究科長	研究科教員
	教務委員会	本宿	(講義基礎)(学生・就職)今崎、(講義教育)本宿、(実習)津田三浦、村上、須貝、勝山
	入試広報委員会	今崎	本宿、今崎、津田

【理事会関係】

区分	委員会名	委員長	委 員	人数	任期	事務局
常設機関	運営連絡会	理事長	学長、副理事長(2名)、常務理事(総務担当理事)、財務担当理事、参与、カトリックセンター長、研究科長(2名)、看護学科長、栄養学科長、宗務部長、監事:土産田、学内評議員:菅原、山口、高木、岩間	15	1年	総務課
	将来構想委員会	理事長	学長、副理事長(2名)、総務担当理事、財務担当理事、参与、宗務部長、図書館長、研究科長(2名)、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、事務局長、理事長指名:松岡理事、本間理事、梅村次長、不動次長	19	1年	総務課
	中期計画検討小委員会	学長	学長、図書館長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、看護:柴田、栄養:清水、教養:目時、事務局長、梅村次長、不動次長	10	1年	総務課
	苦情処理委員会	互選	理事長指名: 理事3名、教職員2名、学外者1名	6		総務課
	懲戒委員会	理事長指名		5		総務課
	ハラスメント防止委員会	互選	理事:小川、本間、松岡、菅原 教員:本宿、堀井 職員:不動	7	2年	総務課
	個人情報保護委員会	互選	理事長、学長、常務理事、理事(理事会選出)菅原、事務局長	5	1年	総務課
	衛生委員会	学長	産業医:中村、衛生管理者:不動、保健師:亀田、看護:若山、栄養:山部、教養:田島、事務局:豊島	7	2年	財務室

名 称	センター長	構 成 員	人数	任期	事務局
カトリックセンター	近藤	センター長:近藤、司祭:スレイマン、常務理事:小川、宗教教育担当教員:小原	4 (3)	2年	学務課

2018年度 教務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：本宿 美砂子 委員：今崎 裕子、津田 万寿美、三浦 恵津子、村上 歩、 須貝 麻由美、勝山 千勢</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>12回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度授業科目担当者について ・2018年度 臨地実習配置について ・2018年度 前期定期試験時間割(案)について ・2018年度 前期試験・評価日程(案)について ・2018年度 特別講師の委嘱について ・2018年度 後期時間割について(試験・イベント日について等) ・2018年度 非常勤講師の委嘱について ・2018年度 実習指導教員の委嘱について ・2018年度 科目等履修生の後期履修科目追加について ・2018年度 後期試験日程等について ・2019年度 教育計画(案)について ・2019年度 科目等履修生受付期間について ・教務委員会、次回開催日について ・2018年度 科目責任者および非常勤講師の委嘱について ・2018年度 最終試験(基礎分野)について ・2019年度 学事暦について ・2019年度 非常勤講師の委嘱について ・2019年度 予算について ・2020年度 入学式日程等について ・2019年度 科目担当者および非常勤講師の委嘱について ・2019年度 後期試験 試験監督者について ・2018年度 修了判定について ・2019年度 授業科目担当者一覧について ・2019年4月 オリエンテーションについて ・2019年度 授業科目開講期の一部変更について 	

[主な報告事項]

- ・2018年度 イースターの集い、および今後の宗務行事の予定
- ・2018年度 学校医（内科医・精神神経科医）について
- ・2018年度 合唱コンクール実施要領
- ・2018年度 科目担当者について
- ・2018年度 独立助産実習（教育）の日程について
- ・2018年度 統合実習Ⅱの日程について
- ・8号館ワックスがけについて
- ・ウィメンズヘルス演習について
- ・8305教室の机について
- ・臨地実習（苫小牧）からの連絡について
- ・2019年度 科目担当者について
- ・2018年度 実習指導教員について
- ・2019年度 シラバス記載について
- ・終了前修養会 特別講演について
- ・2019年度 使用教室について
- ・2019年度 合唱コンクール実施要領
- ・2019年度 教科書購入用リストについて
- ・GPAの運用について
- ・2019年度 アssenブリーアワー〈Sr. 和田講演(4/22(月)1 講目予定)〉について

2018年度 入試・広報委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：今崎 裕子 委員：津田 万寿美、本宿 美砂子</p> <p style="text-align: right;">計3名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>8回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度 助産研究科学生募集要項について ・2019年度 助産研究科入学試験 試験問題出題者について ・広報資料「天使大学入学試験に関する情報開示」について ・2018年度 助産研究科オープンキャンパスについて ・2018年度 広報活動に向けた学内勉強会および本学学生への大学院説明会の人選について ・2019年度 助産研究科 パンフレットについて ・新入生アンケートについて ・2018年度 第1回助産研究科オープンキャンパスについて ・2019年度 助産研究科入学試験 合否判定基準について ・助産研究科映像制作について ・第2回助産研究科オープンキャンパスについて ・2019年度 助産研究科推薦入学試験 合否判定について ・合格者への送付物について ・2020年度 助産研究科入学試験日程（案）について ・2018年度 助産研究科オープンキャンパスの反省について ・2019年度 助産研究科前期試験 合否判定について ・2019年度 助産研究科広報活動計画について ・2019年度 助産研究科 入試・広報委員会予算について ・2019年度 助産研究科後期試験 合否判定について ・2020年度 助産研究科パンフレットについて ・2019年度 オープンキャンパスについて ・2019年度 助産研究科入学試験 追加募集について ・2018年度 年報（入試・広報委員会関係部分）について 	

[主な報告事項]

- ・助産研究科 ポスター・フライヤーについて
- ・2018年度 助産研究科雑誌等広告について
- ・2018年度 助産研究科広報活動計画および入試・広報委員会予算について
- ・2019年度 入学試験日程について
- ・2019年度 助産研究科パンフレットについて
- ・看護系大学等へのオープンキャンパス広報について

2018年度 宗務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：ケン・スレイマン 委員：重岡 妙、田中 裕子、金澤 康子、高桑 暁子、堀井 泰明、 三浦 恵津子、菊池 史恵</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>5回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宗務行事・ミサの実施について <ul style="list-style-type: none"> イースターの集い 死者追悼のミサ クリスマス点灯式・クリスマスキャロルの放送 クリスマスの集い 新年のミサ 灰の儀式（灰の水曜日） 退職する教職員のための感謝ミサ 修了・卒業感謝のミサ 毎週のミサ ・ 委員長不在時の委員長代理について ・ チャペルアワーについて ・ 教職員修養会について ・ 自己点検評価について ・ カトリック医療関連学生セミナーについて ・ 2019年度アッセンブリー・アワー予定表について ・ 2019年度宗務委員会活動計画・予算について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動計画及び予算内訳見積書について ・ 宗務行事・ミサの実施報告について ・ 学生修養会について ・ チャペルアワーについて ・ 教職員修養会について 	

2018年度 図書情報委員会活動報告

委員会組織	委員長：高木 廣文 委員：小澤 涼子、伊織 光恵、清水 真理、志賀 一希、目時 光紀、 三浦 恵津子、平野 敦子
委員会開催数	10回
審議・報告事項	
[主な審議事項] <ul style="list-style-type: none"> ・ 後援会助成図書第1回～第9回選定について ・ 前回議事録の確認 ・ 2018年度図書館及び情報処理室の活動計画及び予算について ・ 2018年度図書資料費予算配分について ・ 夏期休暇に伴う長期貸出について ・ 情報処理室サーバー・ネットワーク等の更新及び日程について ・ 院生学習室(8号館2階)設置の製本洋雑誌の除籍について ・ キノコレ活用の見直しについて ・ 新規購読雑誌について(案) ・ 加除式資料の購読見直し ・ 他大学・短期大学等発行紀要の保存年限等について ・ 情報処理室での飲食に対する制限の一部緩和と厳格な運用について ・ 第2回委員会資料7に関する各学科・科・研究科の報告及び意見を受けて ・ 情報処理室における飲食問題への対応について ・ 情報処理室の利用状況について ・ 2019年外国雑誌の継続購読について ・ エルゼビア社からの二提案について ・ メールシステムのGmail移行について ・ メールシステムの切り替えについて ・ 共有ディレクトリに関する案 ・ 共有フォルダの構築に向けて ・ メールシステム切り替えに伴う規程・ガイドラインの改正及び改訂案について ・ 2018年度後期開館予定(案)について ・ 2019年度図書館開館予定：前期(案) ・ 他大学・短期大学等発行紀要の保存年限等について ・ 2018年度除籍候補図書、除籍候補雑誌、除籍候補視聴覚(カセット及びスライド)：各科検討用 ・ 和雑誌の2019年度継続購読について ・ データベースの2019年度継続利用について ・ 2019年度図書館及び情報処理室活動計画(案)について ・ 2019年度図書館及び情報処理室予算(案)について 	

- ・新棟におけるラーニング・コモンズおよび図書館について
- ・「情報システム管理運用及び利用に関する規程」改正及び「学内ネットワークサービス利用ガイドライン」改訂の進め方について
- ・2018年度自己点検・評価報告：図書館及び情報処理システム

[主な報告事項]

- ・2017年度図書資料費執行状況（結果報告）
- ・2018年度図書資料費執行状況
- ・後期からのGmail使用について
- ・情報処理室の利用状況について（報告）
- ・「情報システム管理運用及び利用に関する規程」の改正や「学内ネットワークサービス利用ガイドライン」の改訂について
- ・共有フォルダの構築について

2018年度 自己点検評価委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：山部 秀子 委員：進藤 正信、本宿 美砂子、吉田 礼維子、山口 敦子、川口 雄一、高木 廣文、岩間 久哉</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>6回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018 年度点検評価報告書及び提出書類について ・ 実地調査の日程について ・ 10 月 18 日・19 日の大学基準協会実地調査対応について ・ 大学評価（認証評価）結果（分科会案）の質問に対する回答について ・ 実地調査を受けての課題について ・ 2019 年度活動計画及び予算について ・ 2018 年度活動報告会及び年報作成について ・ 内部質保証についての講演会について ・ 自己点検評価委員会の規程について ・ 大学基準協会大学評価結果について ・ 2018 年度活動報告会の日程について ・ 内部質保証に関する講演会日程について ・ 自己点検評価委員会の規程について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018 年度予算について ・ 実地調査スケジュール及び面談参加者について ・ 認証評価実地調査時の各面談の報告について 	

2018年度 FD委員会活動報告

委員会組織	委員長：中田かおり 委員：高木廣文、針金佳代子、岡部哲子、鹿内信善、津田万寿美
委員会開催数	6回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員間の授業参観の試行について ・ 2018年度のFD研修会について ・ 学生による授業評価アンケートの自由記載ならびに結果全体に対するコメントへの質問対応について ・ 2018年度のFD研修会について ・ 2018年度第1回FD研修会について ・ 2018年度第2回FD研修会の開催日時について ・ 2019年度第1回FD研修会について ・ 2019年度以降の教員間の授業参観の実施方法について ・ 2019年度活動計画及び予算案について ・ 2018年度第2回FD研修会について ・ 2019年度のFD研修会について ・ 2018年度年報用資料について ・ 2018年度授業評価アンケート報告書の作成について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018年度活動計画および予算について ・ 学生による授業評価アンケートの実施について ・ 2018年度前期学生による授業評価アンケートの今後の予定について ・ 第1回FD研修会の参加者数とアンケート結果について ・ 北海道FD・SD協議会2019年北海道FD・SDフォーラム実行委員について ・ 学生による授業評価アンケートの自由記載ならびに結果全体に対するコメントへの質問対応について ・ 後期授業アンケートの今後の予定について ・ 北海道地区FD・SD推進協議会2019北海道FD・SDフォーラム実行委員会の会議報告について 	

2018年度 学術振興委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：堀井 泰明 委員：高橋 順子、西 隆司、本宿 美砂子</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>5回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度年報：自己点検・評価報告「IV. 研究活動・研究環境」について ・2018年度学術振興委員会活動計画について ・2018年度学術振興委員会予算書について ・第1回～第5回学術振興委員会議事録の確認 ・研究に関する「よろず相談」の広報ポスターについて ・本年度科研費獲得のための講習会について ・「天使大学紀要」投稿規程改正案について ・「天使大学紀要」投稿規程第2条第4項の内規について ・初心者向け科研費獲得のための講習会について ・中級者向け科研費獲得のための講習会について ・紀要第19巻第2号への投稿1件について ・2018年度年報：自己点検・評価報告「IV. 研究活動・研究環境」について（案）：第4回と第5回 ・2019年度活動計画（案）・予算（案）について：第4回と第5回 ・2018年度特別研究費による研究報告会について：第4回と第5回 <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紀要第18巻第2号の発刊について ・紀要第19巻第1号への投稿状況について ・紀要第19巻第2号の原稿募集ポスターについて ・事務担当者のための『科研費新制度 傾向と対策』セミナーについて ・天使大学紀要第19巻第1号投稿者及び査読者一覧 ・『事務担当者のための科研費制度 傾向と対策セミナー』出張報告 ・天使大学紀要第19巻第1号の査読状況 ・天使大学異教第19巻第2号について：第4回と第5回 	

2018年度 地域連携等委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：小澤 芳子 委員：小澤 涼子・長谷川 めぐみ・小原 琢・今崎 裕子</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>7回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度地域連携等委員会役割分担について ・2018年度委員長不在時の委員長代理について ・2018年度地域連携事業活動の把握と報告書について ・2018年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座実施計画について ・2018年度ひがしく健康・スポーツまつり実施計画について ・第16回東区健康づくりフェスティバル講話内容について ・2018年度北海道科学大学との連携事業「夕張地域医療体験」実施要項について ・2019年度活動計画書および予算見積内訳書について ・2019年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座の実施について ・2018年度年報 自己点検・評価報告書について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天使大学と北海道科学大学との教育・研究等に関する包括連携協定書について ・2018年度活動計画書および予算見積内訳書について ・2018年度区役所と天使大学との年間連携事業について ・2018年度東区5者連携事業について ・2018年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座実施報告について ・2018年度「ひがしく健康・スポーツまつり」実施報告について ・第16回東区健康づくりフェスティバル実施報告について ・2018年度「夕張地域医療体験」実施報告について 	

2018年度 研究倫理委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：堀井 泰明 委員：本宿 美砂子、進藤 正信、新谷 恵子、鈴木 純子、岩間 久哉、 小野 滋男（学外委員）、久々湊 晴夫（学外委員）</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類提出締切日、審査の段取り、委員会開催日について ・研究計画の倫理審査（審査件数 27 件） ・2019 年度予算について ・2019 年度活動計画について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学における研究計画の倫理審査手続きに関する説明会開催について ・倫理審査終了後の研究計画等の変更届について ・栄養学科の卒業研究の進め方に関わるチェックリストの内容一部変更について 	

2018年度 キャンパス・ハラスメント対策委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：蝦名 美智子 委員：鹿内 信善、山部 秀子、田島 忠篤、本宿 美砂子、 岩間 久哉、平野 敦子</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>2回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長代理の選任について ・講演会の開催について ・2019年度活動計画書及び予算について ・2019年度アッセンブリアワーの日程について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天使大学キャンパス・ハラスメントの防止等に関する規程について ・ガイドラインについて ・2018年度相談窓口の周知について ・2018年度予算について ・2018年度開催講演会の参加者等について 	

14. 図書館利用状況

2018年度入館者統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	5,125	5,630	7,361	7,492	4,156	5,313	7,635	6,165	4,568	5,385	2,949	1,948	63,727

2018年度図書・視聴覚資料貸出統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護学科	856	1,623	1,944	1,273	1,141	1,684	2,334	1,508	892	495	270	108	14,128
栄養学科	275	489	1,048	564	223	278	628	433	319	96	143	18	4,514
助産研究科	209	118	128	36	68	64	201	80	37	36	41	51	1,069
看護栄養学 研究科	167	287	177	142	67	96	113	62	96	49	72	62	1,390
科目等履修生・研究生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	163	252	202	163	183	108	272	193	178	185	143	108	2,150
学外者	51	34	40	24	35	16	67	34	25	34	18	14	392
合計	1,721	2,803	3,539	2,202	1,717	2,246	3,615	2,310	1,547	895	687	361	23,643

15. 情報処理室の利用状況

年間利用状況

学科・学年 室	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4301室(日中)	796	1,979	2,787	2,596	8,158	642	2,065	4,995	2,147	9,849	18,007
4301室(夜間)	178	524	675	875	2,252	167	188	678	382	1,415	3,667
4302室(日中)	3,464	1,534	2,658	1,491	9,147	3,622	1,714	3,915	2,180	11,431	20,578
4302室(夜間)	702	486	642	959	2,789	1,256	281	689	402	2,628	5,417
総計	5,140	4,523	6,762	5,921	22,346	5,687	4,248	10,277	5,111	25,323	47,669

月別学科学年利用状況

学科・学年 月	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4	604	201	684	691	2,180	612	223	945	532	2,312	4,492
5	509	415	898	915	2,737	700	125	1,632	720	3,177	5,914
6	653	307	1,217	832	3,009	631	77	1,408	617	2,733	5,742
7	593	289	459	690	2,031	862	371	764	512	2,509	4,540
8	22	460	402	210	1,094	17	3	185	224	429	1,523
9	232	302	689	449	1,672	488	176	1,380	399	2,443	4,115
10	1,038	718	837	852	3,445	785	335	1,250	616	2,986	6,431
11	895	865	433	885	3,078	740	929	887	754	3,310	6,388
12	493	533	489	343	1,858	578	963	1,001	442	2,984	4,842
1	97	397	460	10	964	246	996	399	129	1,770	2,734
2	3	32	84	23	142	22	42	253	130	447	589
3	1	4	110	21	136	6	8	173	36	223	359
総計	5,140	4,523	6,762	5,921	22,346	5,687	4,248	10,277	5,111	25,323	47,669

16. 施設・設備の状況

大学設置基準との対比 (単位：m²)

	本学の現有面積	大学設置基準面積	大学設置基準との差 (基準外を除く)
校地面積	30,390	6,910	23,550
校舎面積	14,124	6,402	7,722

校舎内訳

	建設年	経過年数	面積 (m ²)	備考
1号館	1976 (S51)	40	937.76	2階建
2号館	1995 (H 7)	21	707.43	2階建 (耐震構造)
3号館	1963 (S38)	53	1,977.01	3階建 (耐震補強済)
4号館	1971 (S46)	45	2,429.06	3階建 (耐震補強済)
5号館	1980 (S55)	36	396.27	2階建
6号館	2000 (H12)	16	2,674.91	6階建 (耐震構造)
7号館	2002 (H14)	14	2,330.13	4階建 (耐震構造)
8号館	2004 (H 7)	12	1,855.69	4階建 (耐震構造)
体育館	1976 (S51)	40	736.52	
中沼グランド更衣室	1992 (H 4)	24	79.38	平屋建
計	—	—	14,124.16	

学部・大学院研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

学部・研究科	講義室・演習室・学生学習室等	室数	総面積 (m ²)	専用・共用の別	収容人員 (総数)	学生総数	在学生1人当り面積 (m ²)	備考
看護栄養学部	講義室	12	1,519	共用	1,223	735	2.01	看護栄養学研究科と共用
	演習室	13	402	共用	245	786	0.52	大学院と共用
	学生学習室	2	288	共用	160	735	0.38	
看護栄養学研究科	講義室	/	/	/	/	/	/	
	学生学習室	2	370	共用	92	17	24.72	助産研究科と共用
助産研究科	講義室	2	227	専用	51	34	4.45	
	学生学習室	1	344	共用	82	51	3.96	看護栄養学研究科と共用
体育館		1	737	/	/	/	/	
講堂		1	737	/	/	/	/	

学部 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室名	収容人数	面積(m ²)	1人当り面積(m ²)
実験・実習室 (看護学科)	第1看護実習室	100	346	3.46
	第2看護実習室	10	41	4.10
	第3看護実習室	20	46	2.30
	第4看護実習室	10	23	2.30
	第5看護実習室	10	27	2.70
実験・実習室 (栄養学科)	理化学実験室	60	223	3.72
	生理学実験室・微生物学実験室	65	205	3.15
	動物実験室	5	6	1.20
	給食経営管理自習室・実習食堂	130	350	2.69
	第2臨床栄養実習室	60	386	6.43
	官能検査室	10	30	3.00
	食品・調理実験実習室(準備室含む)	60	250	4.28
	第1カウンセリング室	3	8	2.67
	第2カウンセリング室	3	9	3.00
	栄養教育実習室	60	155	2.58
	第1臨床栄養実習室	15	45	3.00
実験・実習室(共通)	和室	10	69	6.90
情報処理室	第1情報処理室	60	113	1.88
	第2情報処理室	56	138	2.46
計		747	2,470	3.32

大学院 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室数	総面積(m ²)	収容人数(総数)	収容人員1人当りの面積(m ²)	使用研究科等	備考
実習室	17	2,227	624	3.32	看護栄養学研究科	看護栄養学部と共用
実習室	1	174	40	4.35	助産研究科	
計	18	2,401	664	3.37	—	—

17. 財務状況

貸借対照表関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	自己資金は充実されているか	純資産構成比率	△	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	74.4	83.8
2		繰越収支差額構成比率	△	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	△8.3	△12.7
3		基本金比率	△	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	88.4	97.5
4		積立率	△	$\frac{\text{運用資産}}{\text{基本金要組入額}}$	116.3	82.4
5	長期資金で固定資産は賄われているか	固定比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	100.9	98.1
6		固定長期適合率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	83.7	89.8
7	資産構成はどうなっているか	固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	75.1	82.2
8		有形固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	42.7	66.1
9		特定資産構成比率	△	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	31.5	14.4
10		流動資産構成比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	24.8	17.7
11		減価償却比率（図書を除く）	～	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得額}}$	60.2	50.0
12	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保資産比率	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	30.3	13.1
13		運用資産余裕比率（単位：年）	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	1.9	0.2
14		流動比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	241.5	210.9
15		前受金保有率	△	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	262.0	343.0
16		退職給与引当特定資産保有率	△	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	91.0	28.9
17	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	▼	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	15.2	7.7
18		流動負債構成比率	▼	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	10.2	8.4
19		総負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	25.5	16.1
20		負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	34.3	19.2

(注1) 「評価」は△：高い値が良い ▼：低い値が良い ～：どちらともいえない を示す。

(注2) 「他法人」は収容定員500～1000名の保健系学部を有する全国13法人の2017年度決算額の平均。

事業活動収支計算書関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	△	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△12.0	0.1
2		経常収支差額比率	△	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△4.3	1.2
3		教育活動収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	△4.6	1.1
4	収入構成はどうか なっているか	学生生徒等納付金比率	～	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	81.0	35.4
5		寄付金比率	△	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	1.4	3.1
6		補助金比率	△	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	13.6	6.3
7	支出構成は適切であるか	人件費比率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	66.5	51.9
8		教育研究経費比率	△	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	32.0	38.5
9		管理経費比率	▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	5.8	8.1
10		借入金等利息比率	▼	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.0	0.1
11		基本金組入率	△	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	17.2	6.8
12		減価償却費比率	～	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	6.0	6.0
13	収入と支出のバランスは取れているか	人件費依存率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	82.1	146.8
14		基本金組入後収支比率	▼	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}}$	135.3	96.9

活動区分資金収支計算書関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	△0.2	11.1

2019 年度 自己点検評価委員会

委員長：進藤 正信（看護栄養学研究科長）

委員：本宿 美砂子（助産研究科長）

吉田 礼維子（看護学科長）

山口 敦子（栄養学科長）

川口 雄一（教養教育科長）

高木 廣文（看護学科）

菅原 邦子（看護学科）

山部 秀子（栄養学科）

岩間 久哉（事務局長）

総務課：上村 俊哉

2018年度

天使大学大学院 助産研究科

年 報

—自己点検・評価報告書—

2019年7月完成

自己点検評価委員会

天使大学

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1番30号

TEL 011-741-1051 FAX 011-741-1077

<https://www.tenshi.ac.jp>
